

平成 30 年度 共通教育 履修案内

[1 年次の学生用]

この履修案内は、共通教育の履修手続き等についてお知らせするものです。学生の皆さんは、各学部の履修の手引きにより、共通教育の履修要件等を確認し、この履修案内と共通教育シラバス・共通教育時間割表を参照して、履修計画をたててください。

みなさんと一緒に楽しい学生生活を送りましょう。



平成30年度学年暦・行事予定

4月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

行事予定

1日(日)～8日(日) 春季休業
 2日(月) 英語クラス分けテスト
 3日(火) 入学式
 4日(水)～6日(金) オリエンテーション
 フレッシュマンセミナー・数学プレースメントテスト
 9日(月) 授業開始

●履修・抽選登録期間(前期・Q1・Q2)
 1年次: 4月7日(土)正午～4月13日(金)
 2年次以上: 4月1日(日)～4月6日(金)正午

●抽選結果発表日(前期)
 Q1: 4月7日(土)正午(1年生は抽選なし)
 Q2: 4月18日(水)正午

●履修修正・追加・削除期間(前期) ※セメスター科目は、Q1と同じ
 1年次Q1: 4月14日(土)～4月20日(金)
 2年次以上Q1: 4月7日(土)正午～4月20日(金)
 全学年Q2: 4月18日(水)正午～6月18日(水)

10月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

行事予定

1日(月) 後期授業開始

5月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

行事予定

1日(火) 木曜日授業の振替
 2日(水) 金曜日授業の振替

定期試験期間(Q1) 5月24日(木)～6月6日(水)

11月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

行事予定

定期試験期間(Q3) 11月13日(火)～11月27日(火)

27日(火) 金曜日授業(試験)の振替

後期クォーター4の授業開始日
 水曜日 28日(水)～
 木曜日 29日(木)～
 金曜日 30日(金)～

6月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

行事予定

1日(金) 創立記念日(授業を行う)

前期クォーター2の授業開始日
 木曜日 7日(木)～
 金曜日 8日(金)～
 月曜日 11日(月)～
 火曜日 12日(火)～
 水曜日 13日(水)～

12月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

行事予定

後期クォーター4の授業開始日
 月曜日 3日(月)～
 火曜日 4日(火)～

25日(火)、26日(水)は授業を行う
 26日(水) 月曜日授業の振替
 27日(木)～1月6日(日) 冬季休業

7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

行事予定

19日(木) 月曜日授業の振替
 定期試験期間(Q2) 7月20日(金)～9月2日(木)
 ※セメスター科目の定期試験も、この期間に実施します。

1月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

行事予定

18日(金) 臨時休業(大学入試センター試験準備)

22日(火) 金曜日授業の振替
 定期試験期間(Q4) 1月23日(水)～2月5日(火)
 ※セメスター科目の定期試験も、この期間に実施します。

8月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

行事予定

3日(金)～9月30日(日) 夏季休業
 3日(金) オープンキャンパス(小串・常盤)
 4日(土) オープンキャンパス(吉田)
 6日(月) オープンキャンパス(代替日)<小串・常盤>
 7日(火) オープンキャンパス(代替日)<吉田>

2月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

行事予定

9月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

行事予定

●履修・抽選登録期間(後期・Q3・Q4)
 全学年: 9月10日(月)～9月21日(金)

●抽選結果発表日(後期)
 Q3,Q4: 9月26日(水)9:00

●履修修正・追加・削除期間(後期) ※セメスター科目は、Q3と同じ
 全学年Q3: 9月26日(水)9:00～10月12日(金)
 全学年Q4: 9月26日(水)9:00～12月4日(火)

27日(木) 9月卒業式・修了式

3月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

行事予定

18日(月) 大学院学位記授与式(博士課程)
 20日(水) 大学院修了式・卒業式

目 次

I. はじめに	1
1. 共通教育履修案内について	1
2. 共通教育シラバスについて	1
II. 共通教育とは	2
1. ディプロマポリシーについて	2
2. 共通教育の内容	3
III. 共通教育の仕組み	7
1. 学期と授業時間	7
2. 共通教育科目実施の流れ	9
IV. 共通教育カリキュラムについて	12
1. 共通教育カリキュラムとは	12
2. 科目編成表について	13
3. カリキュラムマップについて	14
4. 単位一覧表について	14
V. YFL育成プログラムについて	15
1. YFL育成プログラムとは	15
2. YFL育成プログラムのカリキュラムについて	16
3. YFLの資格取得について	17
VI. 共通教育科目の履修上の注意	18
1. 教養コア系列科目の履修について	18
2. 英語系列科目の履修について	20
3. 一般教養系列科目の履修について	23
4. 専門基礎系列 理系基礎分野（数学）の プレースメントテストについて	24
5. 専門基礎系列 理系基礎分野（実験系授業科目）の 履修について	24
6. 専門基礎系列 学部専門基礎分野（初習外国語）の 履修について	26
7. 日本語の履修について	27
8. 教育職員免許状について	28
9. 教養展開科目について	30
10. その他の履修上の注意	30
VII. 共通教育の定期試験について	32
1. 定期試験について	32
2. 定期試験の受験上の注意	32
3. 追試験について	33
4. 成績について	34
VIII. 学外における授業科目の履修等について	35
1. 既修得単位の認定について	35
2. 放送大学の授業科目の履修について	35
3. 山口県立大学，山口学芸大学，山口芸術短期大学および 宇部フロンティア大学の授業科目の履修について	35
4. 派遣留学先の授業科目の認定について	35
IX. 共通教育におけるその他の注意点について	36
1. 共通教育に関する諸連絡等について	36
2. 気象事象による災害発生の恐れがある場合の 授業および定期試験の取り扱いについて	37
3. 共通教育棟の使用について	38
4. 共通教育メディア教育棟情報処理演習室の使用について	39
5. 共通教育本館コインロッカーの使用について	39
6. レポートの剽窃・盗用について	40
X. 山口大学共通教育科目履修規則	41
XI. 相談窓口について	45
XII. 吉田キャンパス配置図	46
XIII. 共通教育棟配置図	47
●共通教育科目に関するよくある質問について	51
●共通教育科目時間割表の作成手順について	53



I. はじめに

1 共通教育履修案内について

『共通教育履修案内』は、当該年度入学者の共通教育科目の履修手続に関する情報を記載しています。

この『共通教育履修案内』については、学生のみなさんが卒業するまで使用するものですので、紛失しないように大切に扱ってください。

また、各学部の発行している『履修の手引（要覧）』により、卒業・進級要件を確認し、この冊子と共通教育シラバスや共通教育時間割表を参照して時間割を作成してください。

2 共通教育シラバスについて

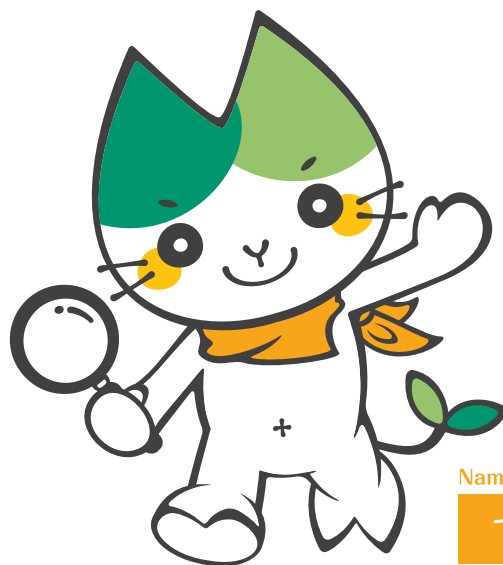
共通教育シラバスは、当該年度の各共通教育科目の授業の概要や授業計画、成績判定方法、テキスト等に関する情報を記載しています。シラバスは、「山口大学ホームページ」→「学生生活・就職情報」→「修学支援システム」→「シラバス検索」で見ることができます。

Q：シラバスとは何ですか？

A:「シラバス」とは、単純に言えば授業の概要が記されたものです。それぞれの授業の詳しい内容や目標、成績判定方法、教科書や参考書、担当教員からのメッセージ等、学生のみなさんが、多くの授業の中から履修する道しるべとなる有益な情報がたくさん盛り込まれています。

『〇〇の授業の内容について、理解が目標に到達したらこの授業は合格とし、単位を与えます』というように、シラバスは、授業を履修しようとする学生とその授業を開設している教員との契約書のようなものなのです。したがって、履修する授業を選択するときだけではなく、授業期間中であってもシラバスの内容をチェックする必要があります。

履修計画を立てたり学習する際に、シラバスを参照してください。



Name

ヤマミィ



Ⅱ. 共通教育とは

1 ディプロマポリシーについて

(1) 山口大学の学士課程教育の理念、目標

山口大学の学士課程教育は、自らが“発見し・はぐくみ・かたちにする”ことを通して、真に人間的な平和・幸福・豊かさを探求し、実現するための礎を築くことを理念としています。

この理念を実現するため、本学の学士課程教育では、①驚きを大切に、自らが考え・判断・表現・行動・発言する能力を養い、②個性を大切に、心身ともに豊かな人間性と美を発見するところを育み、③出会いと交流の中で歴史と伝統を重んじつつ、異文化を受け入れるところを養い、地域社会と国際社会への責任感や義務感を培い、および④夢を描き続け、自らが生涯を通じての知の探究者になる礎を築くことを目標にしています。

(2) 共通教育により本学が卒業時に保証する資質

山口大学の卒業生として相応しい教養を身に付けるため、本学の共通教育では、教養コア科目8単位、英語科目8単位、一般教養科目14又は16単位の計30又は32単位を、すべての学部（共同獣医学部及び国際総合科学部を除く）の学生が必修科目として履修します。本ディプロマ・ポリシー（Diploma Policy）は、これらの必修科目を履修することで身に付けることのできる「共通教育により本学が卒業時に保証する資質」を示すものです。

1. (汎用的能力)：自ら課題を発見し、解決を図るとともに、自ら目標を立て、行動することができる。
2. (情報処理)：情報処理に関する基礎的な知識・技能を修得するとともに、情報および情報手段を主体的に選択し、正しく安全に活用することができる。
3. (運動と健康)：健康で文化的な生活を営むために必要な基礎的な知識と方法を修得し、自らの生活の質を高めることができる。
4. (英語)：英語を用いて基礎的なコミュニケーションを図ることができる。
5. (人文教養)：社会と文化およびそれらと人間との関わりに関する基礎的な知識を修得するとともに、多文化・異文化を理解し、人間としての生き方を考えることができる。
6. (社会教養)：政治、経済や法律などについての基礎的な知識を修得し、良識ある市民として行動することができる。
7. (自然教養)：自然についての基礎的な知識を修得し、自然がかかわる現象や社会的問題について考察することができる。
8. (学際的教養)：現代社会の諸問題について基礎的な知識を修得し、それらを解決するための取り組みや課題などについて考察することができる。

< 学士課程教育の理念 >

「自ら」が
“発見し・はぐくみ・かたちにする”ことを通して、
真に人間的な
平和・幸福・豊かさを探求し、実現するための
「礎」を築きます。

共通教育については、山口大学のすべての学部が協力して実施しています。学生のみなさんは、所属する学部や学科により異なる専門教育に加え、学部や学科の垣根を越えて開設されている共通教育についても、卒業に必要な教育の一環として履修します。共通教育を学習することによって、様々な学部の多彩な専門分野を研究している教員と出会うことができます。

2 共通教育の内容

(1) 共通教育の教育システム

本学の共通教育については、以下のような教育システムにより実施されています。



共通教育の教育システム

- ① 同じ学習の目的を掲げる30又は32単位の授業科目をすべての学部（共同獣医学部および国際総合科学部を除く）の学生が必修科目として履修
- ② クォーター制（一部セメスター制）による授業科目の提供
- ③ アクティブラーニング等による学習時間の確保
- ④ コミュニケーションを重視した英語教育の実施
- ⑤ 授業におけるICTの積極的な活用

(2) 共通教育の特色・特徴

共通教育の特色は、以下の4つの目標に示されており、『大学が卒業時に保証する最低限の資質』を得るための指針として定めております。

驚 き

驚きを大切にし
「自ら」が考え・判断・表現・行動・
発言する能力を養います。

個 性

個性を大切にし
心身共に豊かな人間性と
〈美〉を発見するところを
はぐくみます。

出会いと交流

出会いと交流の中で
歴史と伝統を重んじつつ
異文化を受け入れるところを養い、
地域社会と国際社会への責任感や
義務感を培います。

夢

夢を描き続け、
自らが生涯を通じての
〈知の探求者〉になる
「礎」を築きます。

なお、共通教育（30又は32単位）の授業科目には、全学共通の学習の目的が設定されており、学部による違いはなく、これらの授業科目は、「基礎セミナー」と英語系列の一部を除くと、原則としてクォーター制で提供され、「キャリア教育」を除くと、原則として初年次に開講されます。さらには、

- アクティブラーニングを通じて、異文化・多文化理解の基盤をつくる「山口と世界」を教養コア科目に置く。
- 自己の在り方・生き方を考えるキャリア教育分野を教養コア科目に置く。
- 外国語教育は、英語を必修とする。

なども、本学の共通教育の特徴です。

本学の共通教育には、教養コア科目、英語、一般教養科目以外にも、専門基礎科目、教職基礎科目、教養展開科目があります。専門基礎科目は特定の学部・学科の学生のみを対象とする授業科目であり、英語以外の外国語や理系基礎科目などがこれに該当します。教職基礎科目は、教員免許状取得をめざす学生を対象とする授業科目です。また教養展開科目は、全学部を対象とする授業科目で、国際・地域・知財・ユニバーサルデザインそれぞれの分野の発展的な科目です。

(3) 共通教育授業科目について

共通教育の授業科目は、以下のように分類され、大学生としての基礎知識または幅広い分野の教養を学習することにより、物事を捉える総合的な判断力と多角的な視野を養成していきます。

① 教養コア系列

山口大学の学生としての基本的な学習スキル、生活スキルを身につけるとともに、地域に貢献する意欲を育成する。

「基礎セミナー」

高等学校から大学への円滑な移行を図るため、学習および大学生活に必要なスキルを習得するとともに、自ら考え・判断・表現・行動・発言する基礎的な能力を身につける。

「データ科学と社会Ⅰ」, 「データ科学と社会Ⅱ」

「超スマート社会」の到来に備えて、それを支えるデータサイエンスの概要を理解するとともに、情報および情報手段を主体的に選択し、正しく安全に活用するための基礎的な知識・技能を身につける。

「運動健康科学」

自らの生活の質を高め、健康で文化的な生活を営むための基礎的知識と方法を習得する。

「山口と世界」

山口県の歴史、文化、経済、産業、自然、教育など身近な地域の特色を知り、地域社会の発展に寄与する能力や態度を身につけるとともに、それらの資質を将来所属する地域や国際的環境で活かす力を養う。

「知の広場」, 「キャリア教育」

自己の在り方・生き方を考え、卒業後に社会的・職業的自立を図るために必要な基礎的知識や態度を身につける。

② 英語系列

コミュニケーションツールとしての英語力（の基礎）を身につける。

「英語Ⅰ a」, 「英語Ⅰ b」, 「英語Ⅱ a」, 「英語Ⅱ b」, 「英語会話Ⅰ a」, 「英語会話Ⅰ b」, 「英語会話Ⅱ a」, 「英語会話Ⅱ b」

汎世界的なコミュニケーションツールとしての英語力（の基礎）を身につけ、積極的に対話・討論・発表する力を養う。



③ 一般教養系列

人文・社会・自然の各領域の基本的な考え方を習得し、現代社会を支え、改善していくための基本的姿勢を身につける。

・人文教養領域

社会と文化およびそれらと人間の関わりに関する基礎的知識を習得するとともに、多文化・異文化を積極的に理解し、地域・社会に貢献する態度を身につける。

「哲学」

哲学・思想・宗教・芸術について基本的知識を身につけ、諸課題を発見・分析・考察する力を養う。

「歴史学」

歴史上の諸事実がどのように解明され、どのような歴史的意義を有するかについて、時代や地域の固有性や普遍性を踏まえながら理解する力を養う。

「社会学」

社会学・社会心理学・文化人類学・民俗学について基本的知識を身につけ、現代社会の諸問題を発見・分析・考察する力を養う。

・社会教養領域

現代社会について基礎的な知識を習得し、良識ある市民として地域・社会に貢献する態度を身につける。

「経済と法1」、「経済と法2」、「経済と法3」

経済や法律に関する基本的な知識を身につけ、現代社会の諸問題を自ら発見・分析・考察する力を養う。

・自然教養領域

自然についての基礎的な知識を習得し、自然がかかわる現象や社会的問題について考察する力を養う。

「自然科学1」、「自然科学2」

自然科学の諸領域の基礎を学ぶことを通じて、論理的思考力や合理的判断力を身につけ、自らの生活や学習に活かす力を養う。

・学際的教養領域

現代社会の諸問題と、その解決のための取り組みや課題などについて、情報ツールや数量的スキルなどを用いて論理的に説明する力を養う。

「人間の発達と育成1」、「人間の発達と育成2」

現代のさまざまな分野における発達環境や人づくりの面から、人間の心理・発達や人材育成について理解し考察する力を養う。

「文化の継承と創造1」、「文化の継承と創造2」

伝統の継承や変容、異文化間の交流、情報化など現代文化の動きを理解することを通して、前世代から学ぶもの、次世代に伝えるものに関して考察する力を養う。

「社会と医療」

保健・医療・福祉の観点から健康問題を総合的に捉え、その将来あるべき姿について考察する力を養う。

「科学技術と社会」

人間生活における科学技術の役割を理解し、将来あるべき姿について多角的な視点から考察する力を養う。

「環境と人間」

自然の中で生きる人間と環境の問題・課題を理解し、環境・エネルギーの将来あるべき姿について考察する力を養う。

「食と生命」

人間が生きるために必要な食資源について関心を払い、生命に関して多角的な視点から考察する力を養う。

④ 専門基礎系列

専門分野を学ぶための基礎的知識・技能を習得する。

・ **理系基礎分野** **学部専門基礎分野**

自らの専門分野を学ぶために必要な基礎的知識・技能を習得する。

⑤ 教職基礎系列

教育職員としての基礎的教養を習得する。

・ **教職基礎分野**

「**日本国憲法**」

日本国憲法についての理解を通して、人権および平和と民主主義に関する、教育職員としての基礎的教養を習得する。

「**スポーツ運動実習**」

スポーツ、運動についての体験的な理解を通して、健康と安全に関する、教育職員としての基礎的教養を習得する。

⑥ 教養展開系列

発見し・はぐくみ・かたちにするための発展的教養を習得する。

・ **国際展開分野**

国際的に活躍するための教養と技能を習得する。

「**国際展開科目**」

「**海外英語研修**」

・ **地域展開分野**

地域の課題を理解し、その将来あるべき姿について考察する力を養う。

「**地域展開科目**」

・ **知財展開分野**

知的財産についての幅広い知識を習得し、知的財産がかかわる社会的問題について考察する力を養う。

「**知財展開科目**」

・ **ユニバーサルデザイン展開分野**

障害等をはじめとする多様性の理解、アクセシビリティに関する知識と理解、障害学生支援スキルとコーディネート能力を習得する。

「**ユニバーサルデザイン展開科目**」

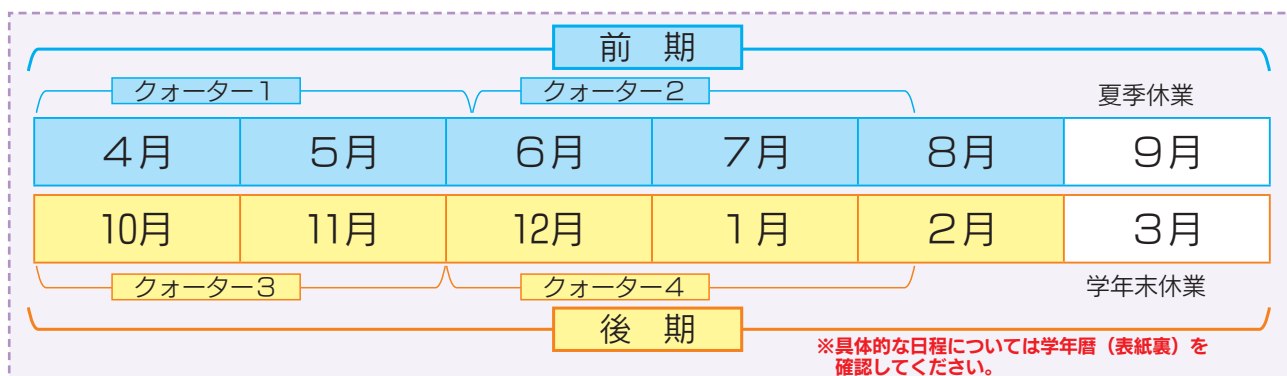
Q：大学の授業は難しくないですか？

A：大学の授業、特に講義形式の授業を受講すると、初めのうちは難しく感じることでしょう。それは、高等学校までの授業とは、かなり違った方法により授業が進められていくからなのです。大学の授業では、ノートにまとめて、その内容を覚えるだけでは、本当に学んだことにはなりません。自分自身で考えるというプロセスを踏まないと、本当に学んだことにはならないのです。

大学の授業を難しく感じる理由の1つは、ある授業において、学生のみなさんにある決まった知識を与えているのではなく、自分自身が考えるための材料を与えているからなのです。「大学で学ぶ」ということは、授業を単に聞くことではなく、自分自身で考えるということから始まるのです。たとえば疑問点を担当教員に質問することなどが、自分自身で考えるための良いきっかけになります。質問は、授業中だけでなく、オフィス・アワーやE-mailを利用してください。また、関連した書籍や資料を読んでみることも良いでしょう。

Ⅲ. 共通教育の仕組み

1 学期と授業時間



(1) 学期(セメスター制)について

山口大学は、1年間を前期と後期との2つの学期に分けています。

各学期の期間については、以下のとおりです。(授業開始日と学期の開始日は異なります)

前期 4月1日～9月30日

後期 10月1日～3月31日

共通教育の一部の授業では、それぞれの学期ごとにその授業を完結させる(セメスター制)授業を開講しています。

(2) クォーター授業について

共通教育の多くの授業では、各学期(前期または後期)の半分の期間において、各授業を完結させる(クォーター制)授業を開講しています。

なお、別配布「時間割表」のクォーター授業の表記等については、「時間割表」の「授業時間割の表記の例」を、各クォーターの開始日については、表紙裏の学年暦(カレンダー)を参照してください。

そのほか、実験科目のクォーターの授業日程については、P.25を参照してください。

クォーター授業の表記	
前期 前半期	: クォーター1 (Q1と略記)
前期 後半期	: クォーター2 (Q2と略記)
後期 前半期	: クォーター3 (Q3と略記)
後期 後半期	: クォーター4 (Q4と略記)



(3) 授業時間について

共通教育における授業時間は、以下のとおりです。

時 限	授 業 時 間	備 考
1 ・ 2 時 限	8時40分～10時10分	
3 ・ 4 時 限	10時20分～11時50分	
5 ・ 6 時 限	12時50分～14時20分	
7 ・ 8 時 限	14時30分～16時00分	
9 ・ 10 時 限	16時10分～17時40分	
11 ・ 12 時 限	17時50分～19時20分	
5・6・7・8時限	12時50分～15時50分	実 験 系 授 業 科 目
7・8・9・10時限	14時30分～17時30分	実 験 系 授 業 科 目

Q：「コマ」という言い方を聞いたのですが？

A：各授業は、90分の授業を基本としていますから、それを通称「1コマ」という言い方をします。「今日の2コマ目（3・4時限）が休講だ」とか「明日は、5コマも授業がある！」という使い方をします。

(4) 授業振替日について

授業振替日とは、祝祭日等により休日となる曜日の授業を所定の日に振り替えて、授業が開講される日のことです。例えば、5月1日（火）が木曜日振替授業日の場合、原則として、5月1日（火）には木曜日の授業のみを開講し、振り替えられた曜日（この場合は火曜日）の授業は開講されません。

セメスター	授 業 振 替 日	授 業 実 施 内 容
前 期	5月 1日（火）	木曜日の授業が行われます
前 期	5月 2日（水）	金曜日の授業が行われます
前 期	7月19日（木）	月曜日の授業が行われます
後 期	11月27日（火）	金曜日の授業（試験）が行われます
後 期	12月26日（水）	月曜日の授業が行われます
後 期	1月22日（火）	金曜日の授業が行われます

2 共通教育科目実施の流れ

共通教育科目の授業開始から単位認定までは、以下のとおりです。
それぞれの期間については、次ページから説明します。

クラス選択が必要な授業※1は、履修・抽選登録期間に Web で抽選登録してください。
それ以外の授業も、履修・抽選登録期間に修学支援システム(Web)で履修登録してください。

① 履修・抽選登録 期間

期間内に必ず履修登録を行ってから授業に参加してください。

前期	平成30年 4月 7日 (土) 正午 ~ 平成30年 4月13日 (金)
後期	平成30年 9月10日 (月) ~ 平成30年 9月21日 (金)

② 抽選結果発表日

前期	平成30年 4月18日 (水) 正午 ※前期の1年生の抽選対象科目は、 <u>クォーター2</u> のみです。
後期	平成30年 9月26日 (水) 9:00

初日授業開始日※2

前期	<u>セメスター・クォーター1</u> :平成30年 4月 9日 (月) ~	<u>クォーター2</u> :平成30年 6月 7日 (木) ~
後期	<u>セメスター・クォーター3</u> :平成30年10月 1日 (月) ~	<u>クォーター4</u> :平成30年11月28日 (水) ~

③ 履修修正・追加・削除 期間

登録もれがないか、必ず確認してください。

前期	<u>セメスター・クォーター1</u>	平成30年 4月14日 (土) ~ 平成30年 4月20日 (金)
	<u>クォーター2</u>	平成30年 4月18日 (水) 正午 ~ 平成30年 6月13日 (水)
後期	<u>セメスター・クォーター3</u>	平成30年 9月26日 (水) 9:00 ~ 平成30年10月12日 (金)
	<u>クォーター4</u>	平成30年 9月26日 (水) 9:00 ~ 平成30年12月 4日 (火)

定期試験期間

前期	<u>クォーター1</u>	:平成30年 5月24日 (木) ~ 6月 6日 (水)
	<u>セメスター・クォーター2</u>	:平成30年 7月20日 (金) ~ 8月 2日 (木)
後期	<u>クォーター3</u>	:平成30年11月13日 (火) ~ 11月27日 (火)
	<u>セメスター・クォーター4</u>	:平成31年 1月23日 (水) ~ 2月 5日 (火)

成績通知

学部により Web 公開時期は異なります。
概ね前期開講科目は 8 月下旬頃、後期開講科目は 2 月下旬頃に公開します。
詳細は、各学部教務(学務)担当係から掲示等でお知らせします。

※1 共通教育時間割表の抽選欄に (◎) と書かれた授業は、抽選登録によりクラス選択が必要です。

※2 具体的な日程については、学年暦(表紙裏)を参照してください。実験系科目を除くクォーター2, およびクォーター4の授業開始日は、学年暦のとおり(実験系科目はP.25参照)です。

(1) 履修・抽選登録について

前ページ①「履修・抽選登録期間」中に、履修する共通教育科目および専門科目すべてを、Web上の「修学支援システム」で受講の申し込み（履修登録）やクラス選択（抽選登録）をすることになります（抽選登録対象の授業については「(3) 抽選登録について」を参照してください）。

(2) 履修・抽選登録等の方法

共通教育科目に限らず山口大学での授業の登録は、修学支援システムによるWebでの登録となります。詳細は、別配布の『修学支援システム操作マニュアル』を参照してください。

〔修学支援システムへの入り口〕

「山口大学ホームページ」→「在学生の皆様」→「修学支援システム」→「山口大学修学支援システム」

※ログインのためのIDは、入学時に配布する「山口大学教育用計算機利用登録証」内の「E-mail」アドレスの@の前のアカウント（(例) ■■■@yamaguchi-u.ac.jpの場合、IDは■■■）、初期パスワードは同登録証に記載されているパスワードを使用します。

(3) 抽選登録について

前期クォーター2以降、共通教育時間割表の抽選欄に「◎」と書かれた授業は、抽選登録によるクラス選択が必要です。「履修・抽選登録期間」に、修学支援システムにより抽選登録（クラス選択）をしてください。抽選登録の際は、同一クォーター・曜日・時限内で複数のクラスを希望順に選択してください（具体的な登録方法は、修学支援システム操作マニュアルをご参照ください）。また、抽選科目以外の授業科目についても、受講生が多い場合は抽選を行うことがあります。

専門基礎系列については、学部の指示に従ってください。

教職基礎系列の「スポーツ運動実習」については、P28を参照してください。

その他については、随時掲示でお知らせします。

Q：時間割表の抽選欄に「●」と書かれた科目も、抽選科目ですか？

A：時間割表の抽選欄に「●」と書かれた科目は、1年生はクラスが指定されていますので、全員当選するようにシステム上設定してあります（修学支援システムでは「第一希望」と表示されます）。2年生以上は抽選科目となり、落選する場合がありますので、1年次に単位修得するよう心がけてください。

(4) 抽選結果の発表について

抽選の結果割り当てられたクラスについては、修学支援システムでお知らせします。前ページ②抽選結果発表日から授業開始までに確認して、当選したクラスで受講ください。希望したすべてのクラスに落選した場合、空いているクラスに自動で割り振られますので、そちらで受講してください。抽選登録をし忘れた場合は、「履修修正・追加・削除期間」に定員に達していないクラスについてWeb登録先着順で受け付けますので、必ず該当授業開始前に登録し、登録できたクラスに参加してください。

〔重要〕 当選したクラスを勘違いするなどして当選していない授業に参加しても、評価を受けることはできません。どのクラスに当選したか十分に確認し、授業開始時にその授業の講義題目と教員が当選したクラスとあっているかを確認してください。

(5) 定員について

共通教育科目については、適正な授業運営、教育効果の向上および危機管理のために、各授業クラスに定員を設け、受講する学生の人数を制限していますので、クラスの指定や抽選に当選して受講の認められた学生の数定員を満たした科目については、それらの学生以外が受講することはできません。

(6) 履修修正・追加・削除期間について

前ページ①の「履修・抽選登録期間」中に登録し忘れた科目や誤って履修登録した科目がある場合、また誤って抽選登録していたのに当選してしまった科目がある場合には、前ページ③の「履修修正・追加・削除期間」に修学支援システムにより修正を行ってください。抽選登録が必要な科目で定員に達した科目は追加登録できませんが、定員に達していないクラスについては、Web登録先着順で定員に達するまで登録できます。授業に参加する前に該当授業が定員に達していないか確認し、Web登録を行ってから授業に参加してください。この期間を超えて間違い

に気づいた場合、成績評価の対象とならないことがありますので、十分注意してください。

(7) 履修登録上の注意

- 履修登録を行う前に、本人宿所情報と保証人情報の確認画面になります。必ず入力してください。入力後変更があった場合、必ず修正を行ってください。電話番号については、緊急の際であっても連絡可能な電話番号を入力してください。携帯電話等を所持している場合には、その電話番号を入力してください。電話番号は、すべて数字のみ半角で入力してください。なお、入力された個人情報については、大学からの緊急時の連絡以外には利用することはありません。
- コードによる登録を行う場合、共通教育授業時間割表や各学部の専門科目の授業時間割を確認し、正しく入力してください。
- 1週間に2コマ以上開講される授業科目については、1箇所のみ登録してください。
- 一部の集中講義および「海外英語研修」については、履修登録を行わないでください。登録方法は掲示で指示します。
- クォーター開講科目は、クォーター1とクォーター2およびクォーター3とクォーター4の授業を間違えて登録しないように、時間割コード欄の学期（前期前半等）をよく確認してください。
- 同一曜日時限に授業科目名が同じものが複数開講されます。履修クラスを間違えて登録しないように、担当教員と講義題目をよく確認してください。
- 「化学実験B」と「物理学実験B」を両方受講する場合は、その両方を登録してください。（P.25参照）
- 共通教育科目の集中講義は、原則Web履修登録する必要はありません。履修方法については、各学期末定期試験期間頃掲示でお知らせします。

(クォーター科目登録例)



Q：時間割の作り方が分かりません。正しく履修登録できるか不安です。

A：大学では、時間割を自分自身で作成しなければなりません。この『共通教育履修案内』と学部の『履修の手引』をよく読み、巻末の表を利用して時間割を作成しましょう。時間割は、①必修科目、②選択科目の順番に授業を選んでいくとスムーズに作る事ができるでしょう。（P.53の「時間割の作成手順」も参考にしてください）

履修登録については、「履修・抽選登録」、「履修修正・追加・削除」それぞれの期間をよく把握して、期間内に、間違いのないようによく確認してください。

もしも、どの授業科目を履修すればよいのか、少しでも不安がある場合には、分からない箇所を整理してから、所属する学部の教務（学務）担当係に相談してください。

(8) 補講の実施について

共通教育科目については、不足分の授業内容を補うために、担当教員の判断により休業期間中等に補講を実施することがあります。補講の実施曜日および時限等については、掲示等でお知らせします。

(9) 学生授業評価（アンケート）の実施について

共通教育科目については、学生みなさんが受講しているすべての授業科目ごとに、それぞれの授業において『学生授業評価（アンケート）』を実施しています。

このアンケートにおけるみなさんの回答については、よりよい授業をつくっていくための資料となりますので、学生みなさんの率直かつ厳正な回答をお願いしています。学生みなさんには、受講しているすべての授業科目ごとに、アンケートを繰り返し回答していただくこととなりますが、それぞれの授業に対して、みなさんの意見を反映させる貴重な機会ですので、ご協力をお願いします。

なお、学生授業評価の回答によって、学生みなさんの当該授業科目の成績評価に対して、何ら影響を及ぼすものではありません。

(10) 定期試験と成績通知について

P.32の「Ⅶ.共通教育の定期試験について」を参照してください。

IV. 共通教育カリキュラムについて

1 共通教育カリキュラムとは

(1) 共通教育カリキュラムについて

共通教育カリキュラムは、あなたの所属する学部の要請のもと、山口大学卒業生として備えておくべき資質のため、また社会が求める人間を育成するために必要な教養を深めるための教育課程です。山口大学では、その目的の実現のためDiploma Policy (DP) を定め、人材育成の方針を具体化し、その発展に努めています。ディプロマポリシーについてはP. 2をご参照ください。

(2) カリキュラム表について

学生のみなさんは、各学部の『履修の手引』等に記載されているカリキュラム表に基づいて単位を修得していくこととなります。この共通教育カリキュラム表は、科目編成表 (P.13)、カリキュラムマップ (P.14) および 単位一覧表 (P.14) から成り立っています。この3つの表の仕組みについて、次ページから説明します。

カリキュラム表 (例)

系列	分野	授業科目	単位数	積上履修	カリキュラムマップ (選択:○/必修:◎)	卒業要件 単位数	備考
教養コア	基礎セミナー	基礎セミナー	2	・	◎	8	
	情報処理	データ科学と社会Ⅰ	1	・	◎		
		データ科学と社会Ⅱ	1	・	◎		
	運動健康科学	運動健康科学	1	・	◎		
	キャリア教育	山口と世界	山口と世界	1	・		◎
キャリア教育1		キャリア教育1	1	・	◎		
		キャリア教育2	1	・	◎		
英語	英語	英語Ⅰa	2	・	◎	16	
		英語Ⅱa	2	・	◎		
		英語Ⅰa	2	・	◎		
		英語Ⅰa	2	・	◎		
		英語Ⅰa	2	・	◎		
		英語Ⅰb	2	・	◎		
		英語Ⅰb	2	・	◎		
一般教養 (人文教養)	哲学	哲	1	・	◎	3	
	歴史学	歴	1	・	◎		
	社会学	社	1	・	◎		
一般教養 (社会教養)	経済と法	経	1	・	◎	3	
		経	1	・	◎		
		経済と法3	1	・	◎		
一般教養 (自然教養)	自然科学	自然科学1	1	・	◎	2	
		自然科学2	1	・	◎		
一般教養 (学際的教養)	人間の発達と育成	人間の発達と育成1	1	・	◎	8	
		人間の発達と育成2	1	・	◎		
	文化の継承と創造	文化の継承と創造1	1	・	◎		
		文化の継承と創造2	1	・	◎		
	社会と医療	社会と医療	1	・	◎		
	科学技術と社会	科学技術と社会	1	・	◎		
環境と人間	環境と人間	1	・	◎			
	食と生命	食と生命	1	・	◎		

2 科目編成表について

(1) 科目編成表について

カリキュラム表の最左部に記載している科目編成表には、共通教育において開設されている授業科目が記載されている他、系列、分野、単位数、積み上げ履修等が表記されています。

(2) 系列と分野

系列と分野とは、科目編成表を体系化するグループです。それぞれの学習の目的については、P. 4～P. 6を参照してください。

(3) 単 位

山口大学では、大学の教室等における授業の部分の単位の基準について、講義および演習にあつては15時間の授業をもって1単位とし、実験、実習および実技については30時間の授業をもって1単位とします。各授業科目の授業時間と単位数の関係については、以下のとおりです。

区 分	1単位あたりの授業時間数	1週あたりの授業時間数	学期あたりの単位数 (1セメスター=15週) (1クォーター=8週)		備 考
			クォーター	セメスター	
講義・演習	15時間	2時間	クォーター	1単位	
			セメスター	2単位	
実 験	30時間	4時間	クォーター	1単位	医学部および工学部 理学部および農学部
			セメスター	2単位	
実 習	30時間	2時間	セメスター	1単位	
外 国 語	15時間	2時間	クォーター	1単位	
			セメスター	2単位	
日 本 語	15時間	4時間	セメスター	4単位	
		2時間	セメスター	2単位	外国人留学生

Q：「単位」って何なの？

A：「単位」とは、学生のみなさんの大学における学修の成果を数量的に示したものです。標準としては、45時間の学修（【大学の教室等における授業】+【授業時間外の学習】）を必要とする内容をもって構成される授業科目に1単位が与えられます。たとえば、2単位の講義であれば90時間のうち、30時間は大学で授業を受けるので、残りの60時間は授業外で学習しなければいけません。

学生のみなさんが、所属する学部において進級や大学を卒業したという資格を得る際には、この「単位」というものを基準にして判定されることとなります。履修した授業科目の成績については、秀～可までを合格として判定され、「単位」を修得したこととなります。どの授業科目の「単位」を修得して、合計どれだけの「単位」を修得しているかということは、自分自身の責任においてしっかり把握しておかなければなりません。

(4) 積み上げ履修

積み上げ履修とは、既に単位を取得した授業科目を繰り返し履修することをいいます。科目編成表の積み上げ履修の項目において『可』と表示されている授業科目については、同じ授業科目を繰り返し履修し、単位を修得した場合、当該の授業科目の単位数を既に修得した単位数に累積して、卒業に必要な単位として算入できます。

また、『4』等の数値が表示されている授業科目は、その数値は卒業に必要な単位として算入できる上限の単位数を示しています。したがって、上限単位数を超えた単位数は、特に断りのない限り卒業に必要な単位に算入されませんので注意してください。

なお、所属する学部によって、積み上げ履修を認められている授業科目が異なりますので、各学部の『履修の手引』に掲載されているカリキュラム表を参照して履修してください。

3 カリキュラムマップについて

(1) カリキュラムマップについて

カリキュラム表の中ほどに記載されているカリキュラムマップには、あなたの所属する学科、課程またはコースが記載されています。その学科、課程またはコースからの縦列が、あなたの学科、課程またはコースに必要な科目を丸づけで表しています。

(2) 丸印の種類と意味について

カリキュラム表に表記されている◎の科目は、この科目が必修であることを示しています。また、○の科目は、この科目が選択科目であり必ずしも単位の修得の必要はないが、単位を修得した場合は卒業に必要な単位として算入されることを意味します。

(3) 空欄について

◎も○も記載されていない欄は、単位を修得しても卒業に必要な単位として算入されませんので注意してください。ただし、前記事項を了承の上、授業を受講したい場合は、担当教員および所属する学部の教務（学務）担当係へ報告・了承の上、履修することはできます。

4 単位一覧表について

(1) 単位一覧表とは

単位一覧表とは、線で区切られた分野および授業科目の中から卒業（学部によっては進級要件も表記）に必要な単位を表記したものです。具体的な見方を以下に示します。

『4』と記載されている場合、「卒業にはその枠内の授業科目の中から4単位が必要で、4単位までを必要な単位として算入できる」ということを示しています。

『7-』のように「-」がついている場合は、「以上」の意味になりますので、この場合は「卒業には7単位以上必要で、上限はなく、修得した単位すべてが必要な単位として算入できる」ということを意味します。つまり、10単位修得した場合、そのすべてが卒業に必要な単位として算入できます。『2-6』のような場合は、「卒業には2単位以上が必要で、上限6単位まで必要な単位として算入できる」ということを意味します。『0-2』のような場合は、「2単位修得することを推奨する（上限2単位）が、0単位でもかまわない」ということを意味します。

『0,4』のように「,」がある場合は、「0単位でも構わないが、その授業科目の単位を修得した場合は4単位を認める」ということを意味します。

(2) 卒業要件単位数について

卒業要件単位数とは、卒業に必要な単位として認められる授業科目の中から、単位を修得した授業科目の単位数の合計により算出されます。単に修得単位を合計した数が卒業要件単位数を超えればいいのではなく、「必修科目の単位は修得しているか」「単位一覧表に沿った単位を修得しているか」など総合的な合計になりますので、十分注意してください。

Q：カリキュラム表を見てどのように履修計画を立てるの？

A：カリキュラム表を見て、いきなり“自分の履修計画を立ててください”と言われても、どうすればいいのでしょうか？まずみなさんは、自分の所属する学部学科のカリキュラムマップを探してください。

カリキュラムマップを見ると、◎や○がついている授業科目があると思います。これらの科目は、単位を修得すると卒業するために必要な単位として数えることができます。しかし、次の『単位一覧表』をみると「4」などの数字が書いてあります。この数字の意味は、その枠の中の授業から「4」単位までが、卒業に必要な単位として認められることを意味します。それ以上の単位をとっても、その分野では「4」までしか卒業に必要な単位として認められません。履修計画を立てるときは、P.18からの「VI.共通教育科目の履修上の注意」にも注意してください。どうしてもわからないことに直面した場合は、担当の先生や教務（学務）担当係に相談してください。

V. YFL育成プログラムについて

(1) YFL育成プログラムとは

本学では、山口県内の高等教育機関や自治体、企業等と連携して地域社会が求め、やまぐちで活躍する人材を育成するための教育プログラム（YFL^{*1}育成プログラム）を構築、実践しています。また、YFL育成プログラムで地域が求める以下の6つの力の一体的な修得を通じ、地域課題解決型リーダーとしての実践力を育成します。

*1 YFL：やまぐち未来創生リーダー（Yamaguchi Frontier Leader）

①【やまぐちスピリット】

山口県は波乱に富んだ歴史、美しい建造物、魅力ある自然環境、実績の高い製造業など様々な地域資源、学問的素材の宝庫です。まずはこれをじっくりと学びます。

②【グローバルマインド】

グローバルな幅広い視野と、その視野の広さを活かして目の前の課題に取り組める柔軟性を養います。

③【イノベーション創出力】

様々な情報が乱れ飛び、ネットでそれが簡単に手に入られる今だからこそ、情報を的確に把握し、それを新しい切り口で形にできるような力を鍛えます。

④【協働力】

目標を共有し、その達成に向けて、お互いの能力・立場を理解し合いながら、自分の立ち位置を意識した行動ができるようなバランス感覚を育てます。

⑤【課題発見・解決力】

与えられた問題、そのためのマニュアルではなく、自らの知識や技能を駆使して課題を抽出し、解決のためにその課題に向き合う姿勢を身に付けます。

⑥【挑戦・実践力】

大学・高専で身につけた専門知識や技能を様々な場面で活用してみようとする積極性、実践に移そうとする行動力を育成します。

連 携 機 関

【高等教育機関】

山口県立大学、宇部フロンティア大学、至誠館大学、東亜大学、徳山大学、山口学芸大学、山口東京理科大学、山口芸術短期大学、徳山工業高等専門学校、宇部工業高等専門学校、大島商船高等専門学校

【自治体】

山口県、下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、山陽小野田市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町、阿武町

【団 体】

山口経済同友会、山口県経営者協会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、山口県中小企業団体中央会、（公財）やまぐち産業振興財団、（地独）山口県産業技術センター、山口県インターンシップ推進協議会、山口労働局

【企 業】

（株）山口銀行、宇部興産（株）、（株）トクヤマ、（株）アデリー、（株）西京銀行、サマンサジャパン（株）、大晃機械工業（株）、多機能フィルター（株）、長州産業（株）、（株）長府製作所、（株）豆子郎、富士商（株）、フジミツ（株）、不二輸送機工業（株）、（株）丸久、（株）安成工務店、（株）ヤナギヤ、ユーピーアール（株）

など108社

※今後、随時、事業協同機関としての協力を呼びかけ、参加企業を増やしていくことにしています。

(2) YFL育成プログラムのカリキュラムについて

やまぐち未来創生リーダーを育成するために必要な教育カリキュラムを、学年ごとに設定しています。

学部1年次では、地域志向科目として開講される「山口と世界（やまぐちの歴史・文化を学ぶ）」のほか、「やまぐちの行政・経済を学ぶ」、「キャリアデザイン入門」、「知的財産入門」において地域に関する基礎理解を行います。

また、「サービスマーケティング入門」、「地域協働型知識創造論」、「社会情報入門」では『やまぐちを発見!』に繋がる実践的スキルが修得できます。特に、「サービスマーケティング入門」では地域コミュニティを支える市民性を養い、「地域協働型知識創造論」では多様な地域関係者とのコミュニケーションや協働する基本的姿勢を養います。

学部2年次では、インターンシップ事前学習として「インターンシップ基礎」を受講するほか、「サービスマーケティング基礎」又は「アントレプレナー基礎」を選択し、その後の学修の方向性を確定していくこととなります。「サービスマーケティング基礎」、「アントレプレナー基礎」では、YFL育成プログラム参加学生の「仲間とはぐくむ!」ことを目的としたフィールドワーク型の合同合宿授業を行います。

学部3年次以降は、PBI科目^{*2}の「地域協働課題解決型インターンシップ [サービスマーケティング編]」又は「企業協働課題解決型インターンシップ [アントレプレナー編]」を選択し、地域課題解決型リーダーとしての実践力を修得することができます。

*2 PBI (Project-based learning Internship) 科目：通常のインターンシップとは異なり、地域や企業等（フィールド）の抱える課題を学生がその場に出かけていき、ステークホルダーとの意見交換や情報分析を行うと共に、学生自身の持つ専門知識などを活かし課題解決を目指す。これにより学生の課題解決実践力を育成する。

【YFL育成プログラム実施科目】

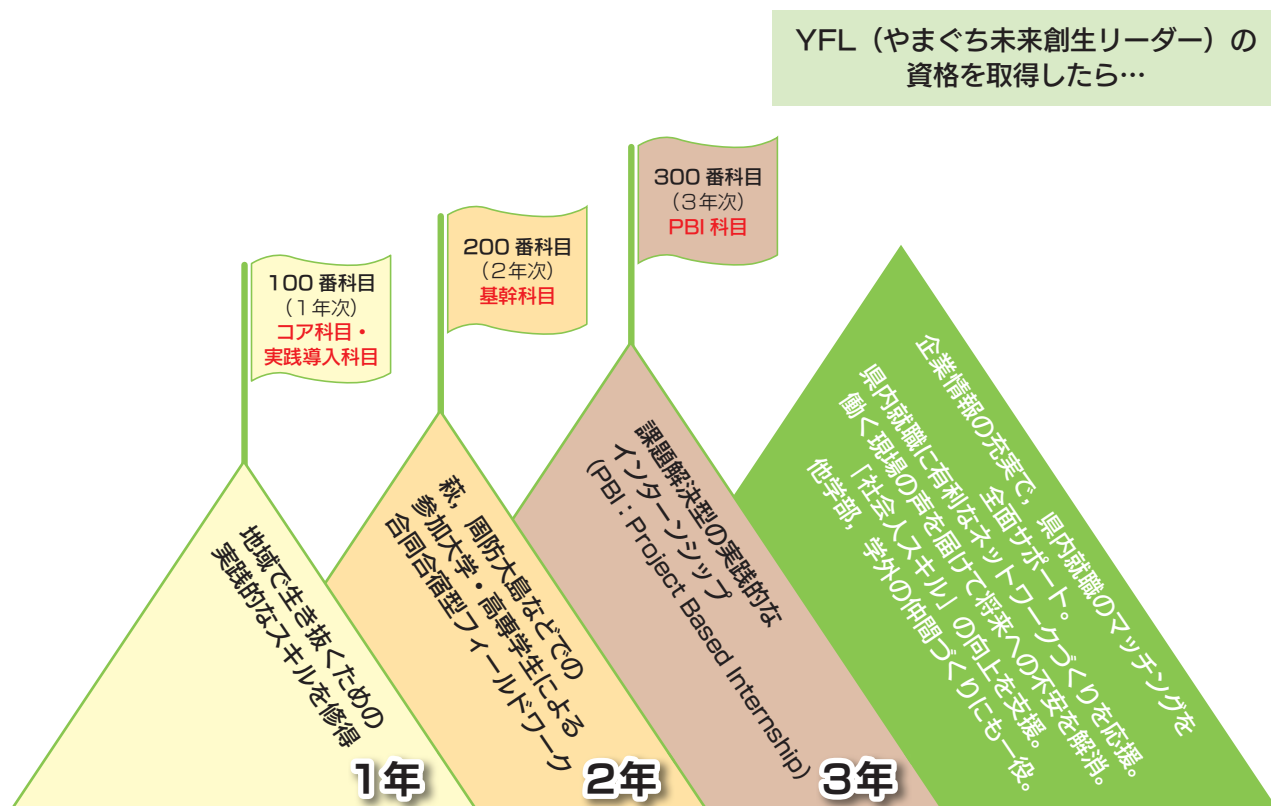
YFL育成プログラムにおける科目名	種別	山口大学における科目名	単位	開 講 期	内 容	履修年次 ^{*2}
キャリアデザイン入門	必修	知の広場	1	前期または後期 (時間割を参照し、所属学部ごとに割り当てられている曜日・時限で履修)	山口の様々な分野で活躍する人材をゲストティーチャーに迎えての「心踊る」キャリア教育	1年次
やまぐちの行政・経済を学ぶ	必修	経済と法3 (やまぐちの行政・経済を学ぶ) または 経済と法3 (山口県の地域政策)	1	前期集中 後期前半水曜日3・4時限 または 後期後半水曜日3・4時限	自治体や企業のトップリーダーによる「現場」からの実践的講義	1年次
知的財産入門	必修	科学技術と社会	1	前期または後期 (時間割を参照し、所属学部ごとに割り当てられている曜日・時限で履修)	特許やデザインを扱う知財教育の全国の拠点機関に採択された山口大学による「目からウロコ」の知的財産の世界	1年次
山口と世界 (やまぐちの歴史・文化を学ぶ)	必修	山口と世界	1	後期前半または後期後半 (時間割を参照し、所属学部ごとに割り当てられている曜日・時限で履修)	山口の歴史、文化を素材とした「地元愛溢れる」地域志向科目	1年次
サービスマーケティング入門	必修	人間の発達と育成1 (サービスマーケティング入門)	1	後期前半水曜日11・12時限 後期前半木曜日11・12時限 または 後期後半木曜日11・12時限	大学・高専で修得した知識・技能を地域や社会に還元するための入門科目	1年次
地域協働型知識創造論	必修	人間の発達と育成2 (地域協働型知識創造論)	1	後期前半水曜日11・12時限 または 後期後半水曜日11・12時限	マニュアルとは違う、知識・技能を地域の現場で活かすための実践科目	1年次
社会情報入門	必修	社会学(社会情報入門) ※(人文学部は、社会学(社会学))	1	後期前半水曜日11・12時限 または 後期前半月曜日11・12時限 (人文学部は前期前半月曜日7・8時限)	社会を取り巻く情報の洪水にクールに向き合うための基礎科目	1年次
インターンシップ基礎	必修	キャリア教育	1	平成30年度 または 平成32年度開講	学生を受け入れる企業側の意見も取り入れた就業力向上のための基礎科目	1年次 または 3年次
サービスマーケティング基礎	選択 必修	「文化の継承と創造1(サービスマーケティング基礎)」および 「文化の継承と創造2(サービスマーケティング基礎)」または 学部専門科目 ※1	2	平成31年度開講	自治体での観光ボランティア等を通じた県内施設での参加大学・高専学生による合同合宿型フィールドワーク	2年次
アントレプレナー基礎	選択 必修	「文化の継承と創造1(アントレプレナー基礎)」および 「文化の継承と創造2(アントレプレナー基礎)」または 学部専門科目 ※1	2	平成31年度開講	起業入門、地域資源の活用等を取り入れた県内施設での参加大学・高専学生による合同合宿型フィールドワーク	2年次
地域協働課題解決型 インターンシップ	選択 必修	各学部の専門科目または 「地域展開科目」	2	平成32年度開講	地域社会が抱える課題を意識した実践的なインターンシップ	3年次
企業協働課題解決型 インターンシップ	選択 必修	各学部の専門科目または 地域展開科目	2	平成32年度開講	企業が直面する課題を意識した実践的なインターンシップ	3年次

※1 学部専門科目により「サービスマーケティング基礎」または「アントレプレナー基礎」の単位を修得した場合は、別途、卒業要件科目として「文化の継承と創造1」及び「文化の継承と創造2」を履修する必要がありますので注意してください。

※2 履修年次は、所属学部によって異なる場合がありますので、注意してください。

(3) YFLの資格取得について

YFL育成プログラムの授業科目を必修8単位、選択必修4単位の合計12単位を修得した場合には、「やまぐち未来創生リーダー」としてYFL認定証を授与します。



VI. 共通教育科目の履修上の注意

1 教養コア系列科目の履修について

(共同獣医学部および国際総合科学部は、この項目の内容は該当しません)

教養コア系列には「基礎セミナー」、「データ科学と社会Ⅰ」、「データ科学と社会Ⅱ」、「運動健康科学」、「山口と世界」、「知の広場」、「キャリア教育」の各授業科目が用意されており、すべて必修科目です。

この系列の授業科目は、1年生の場合、**1年間に1度しか履修することができません**（「データ科学と社会Ⅰ」、「データ科学と社会Ⅱ」を除く）。

(1) 「基礎セミナー」について

所属する学部学科等によっては、「基礎セミナー」のなかで「フレッシュマン・セミナー」を行います。大学教育に関するオリエンテーション、履修指導および教員・在学生との話し合いなどを通じて勉強の仕方や学生生活一般について学ぶとともに、新入生同士および学生と教員相互の親交を深めることを目的としたものです。

(2) 情報処理分野について

「データ科学と社会Ⅰ」（1単位）と「データ科学と社会Ⅱ」（1単位）の2つの科目が必修となります。指定されたクラスの前期クォーター1の「データ科学と社会Ⅰ」と、前期クォーター2の「データ科学と社会Ⅱ」を履修登録してください。

開設科目名	授業内容	単位
データ科学と社会Ⅰ	データを科学的に解析し問題解決を行うデータサイエンスが、人間の発展に大きく貢献していることを知り、データ取得のための情報検索方法を学習したうえで、集めたデータを分析し、レポートにまとめ、表現するためのツールの利用方法を修得する。	1単位
データ科学と社会Ⅱ	数理・情報系の研究者によるデータサイエンスを用いたデータ分析の方法論、情報系企業によるデータ活用の事例紹介、学生が専攻する分野の教員によるデータを用いた研究事例について、初学者向けの解説を行う。これに加えて、情報セキュリティ、情報モラル、コンプライアンスと著作権法など、超スマート社会に適応していくために必要な作法を会得する。	1単位

※前期に単位修得できなかった場合は、後期に開講される同科目を再履修してください。

『データ科学と社会Ⅰ』，『データ科学と社会Ⅱ』は開講期（クォーター）が異なる別の授業です。必ず個別に履修登録してください。

(3) 「運動健康科学」について

クラス指定された曜日および時限のクラスを受講してください。

各クォーター、各曜日時限の第1回の授業で、重要な本授業の説明がありますので、必ず出席してください。

本授業は実習を含むため、実施場所を変更する場合があります。第1回の授業に出席できなかった学生は、第2回の授業までに必ず担当教員と連絡を取ってください。

(4) キャリア教育分野の履修について

「知の広場」は1年次に、「キャリア教育」は原則として高年次に履修してください（教育学部および医学部医学科は1年次に履修）。「キャリア教育」の履修年次については、各学部『履修の手引』を参照してください。

「知の広場」（人と学問とキャリア）については、隔週に遠隔講義で行われます。対象学部の学生は、下表のとおり**指定の授業開始日・教室**に集合してください。各授業開始日に授業実施日の連絡があります。指定のクラス以外で受講しても、出席確認システムで欠席扱いとなりますので注意してください。なお、教育学部、医学部および工学部の学生のうち指定された学生は、別途開講されるクラスでの受講となります。詳しくは掲示でお知らせします。

「知の広場」（人と学問とキャリア）（教育学部および医学部医学科除く）授業開始日一覧表

学 期	曜日時限	授業開始日	教 室	対 象 学 生
前 期	水7・8	平成30年 4月11日	1 番 教 室	経 (1-200), 国
			メディア講義室	人 (001-095)
		平成30年 4月18日	1 番 教 室	人 (096-)・経 (201-)・医 (保健 (検査))
			メディア講義室	医 (保健 (看護))
後 期	水7・8	平成30年10月 3日	1 番 教 室	理 (数理)・工 (機械・社建・応化)・獣
			メディア講義室	理 (生化)
		平成30年10月10日	1 番 教 室	理 (物情・地球)・工 (電気・知能・感性・循環)
			メディア講義室	農

※授業は隔週で実施されます。初回授業日に配付される日程表を確認のうえ、間違えないように受講してください。

(5) 「山口と世界」の履修について

「山口と世界」の所属別の受講期間・曜日・時限は、下記のとおりです。

この科目は、すべてのクラスが抽選対象です。「履修・抽選登録期間」に指定された期間、曜日・時限に開講されるクラスの中から、希望するクラスを第3希望まで選択してください。抽選結果は修学支援システムでお知らせしますので、抽選結果発表日 (P. 9 参照) から授業開始までに、どのクラスに当選しているかしっかり確認し、当選したクラスで受講してください。なお、希望者数によっては、自分が希望していないクラスが自動的に割り当てられることがあります。

理学部物理・情報科学科および工学部の学生は、2年次に履修してください。

学 期	クォーター	時 限	対 象 学 生*
後 期	クォーター3	水曜日 9・10時限	理 (数理001-025・生化001-040・地球001-015) 医 (医 001-054・看護001-040・検査001-020) 農 (生資001-025・生機001-025) 共 獣 (001-015) 2年次 (理 (物情001-030))
		金曜日 7・8時限	人 (001-095) 教 (小学校 (総合001-020・教育学001-005・ 心理001-005・国理001-005) 幼児 (001-005)・特支 (001-005)・情報 (001-005)・ 教科 (国001-005・社001-005・数001-005・理 001-004・音001-003・美001-004・保001-004・ 技001-003・家001-004・英001-003)・経済 (001- 173)
	クォーター4	水曜日 9・10時限	理 (数理026-・生化041-・地球016-) 医 (医 055-・看護041-・検査021-) 農 (生資026-・生機026-) 共 獣 (016-) 2年次 (理 (物情031-))
		金曜日 7・8時限	人 (096-) 教 (小学校 (総合021-・教育学006-・心理006-・ 国理006-) 幼児 (006-)・特支 (006-)・情報 (006-)・ 教科 (国006-・社006-・数006-・理005-・音004-・ 美005-・保005-・技004-・家005-・英004-) 経済 (174-)・国際 (001-)

※対象学生の略称表記については、別冊子『共通教育時間割表』を参照ください。

2 英語系列科目の履修について

(共同獣医学部および国際総合科学部は、この項目の内容は該当しません)

(1) 英語のカリキュラムについて

英語によるコミュニケーションを行うということは、グローバル化の時代といわれる21世紀を生きる学生のみなさんにとって、必要不可欠なものになっています。

本学の英語のカリキュラムは、英語の運用実用能力の養成を基本として、「読む・書く・聴く・話す」の4技能を中心とした英語の総合力を身につけるものとなっています。

また、入学直後にVELCテストを用いたプレースメント・テストを行い、学生のレベルに応じた少人数制(20～40人)の授業を受講することとなります。

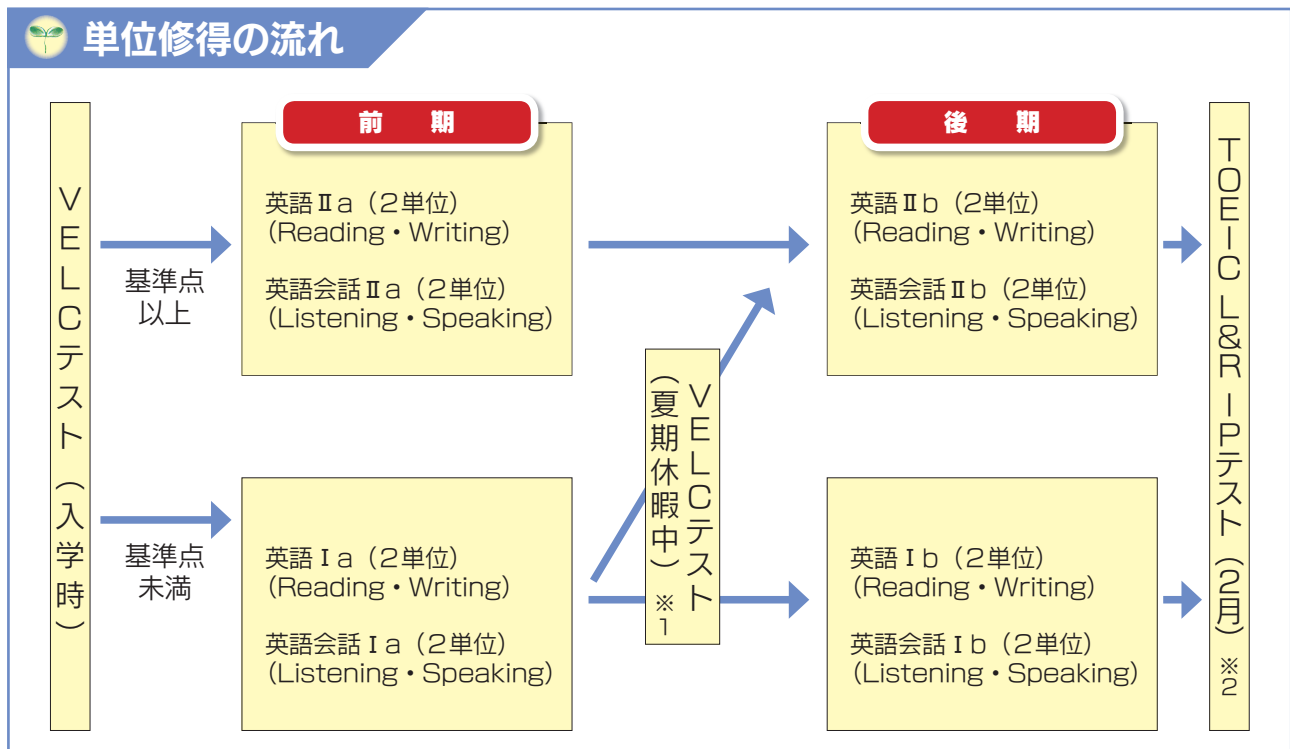
(2) 単位修得の流れについて

英語のカリキュラムにおける単位修得の流れは、以下のとおりです。

まず、みなさんは入学後にVELCテストを必ず受験してください。VELCテストの結果により、「英語 I a」&「英語会話 I a」または「英語 II a」&「英語会話 II a」を履修することになります。ただし、クラス分けの基準点については、所属学部・学科等の得点分布状況によって異なります。クラス分けは掲示しますので、掲示に従い指定されたクラスを履修してください。なお、「英語 I a」「英語会話 I a」を履修している学生の内、夏季休業中のVELCテスト等(※1)を受験し、所定の基準点以上を取得した場合は、後期から「英語 II b」及び「英語会話 II b」を受講することができますので、希望者は申請してください。基準点は前期中に周知します。

また、特別な場合を除き、原則として2月に行われるTOEIC L&R IPテストを受験しなければ、英語科目の単位が保留のままとなり、英語科目の単位(最大8単位)の修得ができなくなる可能性がありますので、必ず受験してください(※2)

クラス分けに応じて、下記のとおり4科目8単位を履修し単位を修得してください。



※1：クラス替えのテストはVELCテストのほか、TOEIC L&R IPテスト、TOEIC L&R公開テスト、TOEFL iBT、IELTSが対象となります。TOEIC L&R公開テスト、TOEFL iBT及びIELTSを受験し上位クラスへの変更を希望する場合は、スコアシートを共通教育係窓口まで提出してください。(ただし学期の途中での科目の変更はできません。)

※2：真にやむを得ない理由で2月に実施されるTOEIC L&R IPテストを受験できない場合は、必ず共通教育係窓口まで相談してください。

(3) 成績評価、授業時間外の学習について

英語の授業科目の単位の評価については、定期試験の成績やパフォーマンス評価等により厳格に行われます。また、それぞれの授業においても、相当量の課題が提示されます。したがって、単位を修得するためには授業時間外の学習もが不可欠となります。英語能力を高めるために、単に授業を受けるだけではなく、授業時間外の学習を怠らないように努めましょう。

(4) 平成30年度 VELCテストおよび各種TOEICテスト等スケジュール（予定）

スケジュールは変更になることがあります。随時掲示を確認してください。

TOEIC IPテスト等の受験料は、学生の自己負担となっています。受験手続きは掲示等で確認してください。

なお、一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会主催の公開テストについては、TOEIC公式ホームページ [(財) 国際ビジネスコミュニケーション協会] を参照してください。

【VELCテスト 山口大学主催】学内 ¥864 (第1回は無料)

回	実施日	申込期間	申込書類・窓口
平成30年度 第1回	2018年 4月 2日 (月)	—	—
平成30年度 第2回	2018年 8～9月頃	別途掲示	別途掲示

【TOEIC L&R IPテスト 山口大学主催】学内 ¥3,785

回	実施日	申込期間	申込書類・窓口
116	2018年 6月 3日 (日)	4月16日(月)～ 5月 7日(月)	各学部学務 (教務) 係・共通教育係
117	2018年 7月28日 (土)	6月11日(月)～ 6月29日(金)	各学部学務 (教務) 係・共通教育係
118	2018年10月28日 (日)	9月 3日(月)～10月 3日(金)	各学部学務 (教務) 係・共通教育係
119	2018年12月 9日 (日)	10月29日(月)～11月 9日(金)	各学部学務 (教務) 係・共通教育係
120	2019年2月2日 (土) 午後 (全学部の高年次生及び 国際総合科学部・共同獣医学部の新入生)	12月 3日(月)～12月14日(金)	各学部学務 (教務) 係 学内簡易郵便局 共通教育係 英語IPテスト事務局
	2019年 2月 7日 (木) 2019年 2月 8日 (金) (※) 第120回のTOEIC L&R IP テストは、所属学部・学科毎に受験 日を指定して、いずれかの日で受験 していただきます。		英語の授業内での配布 (共同獣医学部及び国際総合科学部 以外の1年生は必須です)
追試	2019年 3月 4日 (月) (2月7日(木), 8日(金)の TOEICを欠席した新入生のみ対象)	新入生は原則2月7日, 8日のTOEICを受験してください。追試は特別な事由で受験できなかった人が対象です。追試対象者は、後期の「英語 I, II」の授業内で配布される「受験要領」に書かれている期間内に、共通教育係で「TOEIC追試願」を記入・提出する事。	

【TOEIC BRIDGE IPテスト 山口大学主催】学内 ¥3,270

回	実施日	申込期間	申込書類・窓口
21	2018年 7月28日 (土)	6月11日(月)～ 6月29日(金)	共通教育係
22	2019年 2月 2日 (土)	12月17日(月)～ 1月 4日(金)	共通教育係

(5) TOEICスコアの卒業要件の基準点について

所属学部・学科によっては、以下のように、卒業要件として取得すべきTOEICスコアの基準点が定められています。詳細については、各学部の『履修の手引』を参照してください。

所属学部・学科等		卒業要件	備考
人文学部		なし	
教育学部		なし	
経済学部		400	詳細は学部『履修の手引』参照
理学部	数理科学科	なし	
	物理情報科学科	なし	
	生物・化学科	350	
	地球圏システム科学科	350	4年次進級時に350点必要
医学部	医学科	500	4年次修了時までに500点必要
	保健学科	400	進級要件については学部『学生要覧』参照
工学部		350	4年次進級時に350点必要
農学部		なし	

(6) 各種テストにおける卒業・進級要件の基準点（TOEIC点）について

TOEFL iBT及びTOEIC Bridgeを受験した学生は、取得したスコアに基づき、以下のとおりTOEIC L&Rスコアを取得したものとみなします。

TOEIC L&R	TOEFL iBT	TOEIC Bridge
300	—	116
350	—	132
400	41	—
500	45	—
600	61	—

(7) 卒業・進級要件のためのTOEICスコアの事務取扱いについて

卒業・進級要件のためのTOEICスコアについては、山口大学主催で実施されるTOEIC L&R IPテストおよびTOEIC Bridge IPテストを受験した場合、その取得スコアに基づき概ね3月から8月までに受験した場合は前期に、9月から2月までに受験した場合は後期に、卒業・進級要件のスコアとして自動的に認定しますので、窓口での届出は不要です。ただし、休学中に受験した場合は、休学が終了した次の学期に自動認定されます。なお、TOEIC公開テスト、TOEFL iBTについては、卒業要件や進級要件の基準となるスコアを取得した場合、基準点の判定対象スコアとするには届出が必要ですので、共通教育係窓口で手続きをしてください。各学期の届出締切日は、掲示でお知らせします。

また、対象となるTOEICスコアは、入学後に受験した山口大学主催で実施されるTOEIC L&R IPテスト、TOEIC Bridge IPテスト、国内外のTOEIC公開テスト、TOEFL iBT※で取得したものに限り、

※ TOEFL iBTからTOEICスコアの300, 350への換算基準はありません。TOEFL iBTで41点以上を取得した場合、各学部卒業・進級基準TOEICスコア300, 350を満たすものとします。

3 一般教養系列科目の履修について

(共同獣医学部および国際総合科学部は、この項目の内容は該当しません)

一般教養系列には「人文教養領域」、「社会教養領域」、「自然教養領域」および「学際的教養領域」の授業科目が用意されており、すべて必修科目です。また、すべてクォーター授業となり、一部クラス選択科目がありますので、時間割作成には注意してください。別冊子『共通教育時間割表』で「◎」で表示されたクラス選択科目は、**抽選登録によるクラス選択が必要**です。特に注意してください。

なお、クラス選択科目において、抽選登録後の抽選処理によって落選となったクラスを間違えて受講した場合や、登録をし忘れた場合は、単位は出ませんので注意してください。必ず修学支援システムにより当選したクラスの担当教員、講義題目、講義室等を確認して受講してください。

この系列の授業科目も教養コア系列科目と同様、1年生の場合、**1年間に1度しか履修することができません**。クォーター2および4（後半期）の授業開始日は、第9週目（本紙表紙裏「学年暦」に記載）となります。

抽選登録期間 (P.9参照) に要注意!



4 専門基礎系列 理系基礎分野（数学）のプレースメントテストについて

（工学部以外の学部は、この項目の内容は該当しません）

（1）対象学部・学科

工学部全学科

（工学部以外の学生を対象とした数学のプレースメントテストは行われません）

（2）プレースメントテストの趣旨

工学部学生が履修すべき数学の基礎的学力の到達度を測り授業計画に用いるため、数学のプレースメントテストを実施します。プレースメントテストの結果が一定の基準をクリアしていない場合は、2コマ続けて行われるAクラスの「数学I」を履修することになります。

（3）数学の履修について

プレースメントテストの結果をもとに、クラス分けが行われます。クラス変更は認めませんので、必ず指定されたクラスで履修してください。クラス分けは、学期始めに掲示にて発表します。

5 専門基礎系列 理系基礎分野（実験系授業科目）の履修について

（理学部・医学部・工学部・農学部・共同獣医学部以外の学部は、この項目の内容は該当しません）

（1）実験系授業科目の履修について

実験系授業科目の履修については、各学部の『履修の手引』に掲載されている共通教育カリキュラムおよび以下の一覧表を参照して履修してください。

学 期	曜 日	時 限	授 業 科 目	対 象 学 生 等 (クラス)
前 期	月	7～10	生 物 学 実 験	○物情, ○生化
	火	5～8	物 理 学 実 験 A	○生化, ○地球
	木	5～8	化 学 実 験 A	○物情, ○地球, ○生資, ○生機
			地 球 科 学 実 験	○物情
	金	5～8	物 理 学 実 験 B	◎機械, ◎応化, ◎循環
化 学 実 験 B			◎機械, ◎応化, ◎循環	
後 期	月	5～8	生 物 学 実 験	◎生資
		7～10	地 球 科 学 実 験	◎地球
	木	5～8	物 理 学 実 験 A	●物情, ○生化, ○生資, ○生機
			物 理 学 実 験 B	◎医学
			化 学 実 験 A	○生化
			化 学 実 験 B	◎医学
	金	5～8	物 理 学 実 験 B	◎社建, ◎電気, ◎知能, ◎検査
			化 学 実 験 B	◎社建, ◎電気, ◎検査
			生 物 学 実 験	◎生機
			7～10	生 物 学 実 験

（注）対象学生等において、学科等の略表記（別冊子『共通教育時間割表』のクラス表記参照）に付した記号については、以下のとおりです。

◎：当該授業科目を必修科目とする学科等

●：当該授業科目を選択必修科目とするが、履修することが望ましい科目とする学科等

○：当該授業科目を選択必修科目とする学科等

（2）実験オリエンテーション・ガイダンスについて

実験の種類によっては、各学期の授業開始前や初回の講義等に、実験オリエンテーション・ガイダンスを行いますので、履修を希望する学生は、必ず出席してください。

「化学実験A・B」と「物理学実験A・B」の会場は、共通教育棟の講義室で行うことがありますので、注意してください。詳細については、共通教育掲示板に掲示します。

なお、このオリエンテーション・ガイダンスに出席していない学生については、**当該授業科目の履修を認めないことがあります。**

(3) 実験の連絡事項について

実験の連絡については、各実験室前の掲示板にて行う場合があります。

「化学実験A・B」は4F化学実験室前掲示板、「物理学実験A・B」は3F物理学実験室前掲示板にて実験スケジュールや班分け名簿等を掲示しますので、見落とし等のないように留意してください。

(4) 実験に必要な費用について

実験に必要な費用については、その一部を負担してもらうことがあります。

(5) 実験に必要な着用物について

「化学実験A・B」の実験時には、白衣や保護眼鏡の着用が必要となります。

<白衣> 購入の有無については、所属学部・学科の指示に従ってください。

<保護眼鏡> **化学実験中は、保護眼鏡の着用が必須となります。**

購入の有無については、所属学部・学科の指示に従ってください。

4F化学実験室の実験台に備えてありますが、個人で購入されても結構です。

(6) 実験「B」の履修について

「化学実験B」および「物理学実験B」は、履修者をグループ分けし、あるグループはクォーター1(3)で「化学実験B」、クォーター2(4)で「物理学実験B」を行い、別のグループはクォーター1(3)で「物理学実験B」、クォーター2(4)で「化学実験B」を行います。**Web履修登録する場合は、実験順序に従って両方の科目を履修登録してください。**片方の実験「B」のみ受講する場合でも、実験順序に従ってその実験を履修登録してください。

実験日程については下記のとおりです。

※日程は変更場合があります。

曜日時限	授業科目	学科	学籍番号*	ガイダンス	1	2	3	4	5	6	7
前期クォーター1											
金 5~8	物理学実験B	機械 応化 循環	後半	4/13 (金)	4/20 (金)	4/27 (金)	5/2 (水)	5/11 (金)	5/18 (金)	5/25 (金)	6/1 (金) 補 講
	化学実験B	機械 応化 循環	前半								6/1 (金) 大掃除
前期クォーター2											
金 5~8	物理学実験B	機械 応化 循環	前半	6/8 (金)	6/15 (金)	6/22 (金)	6/29 (金)	7/6 (金)	7/13 (金)	7/20 (金)	7/27 (金) 補 講
	化学実験B	機械 応化 循環	後半								7/27 (金) 大掃除
後期クォーター3											
木 5~8	物理学実験B	医学	後半	10/4 (木)	10/11 (木)	10/18 (木)	10/25 (木)	11/1 (木)	11/15 (木)	11/22 (木)	11/29 (木) 補 講
	化学実験B		前半								11/29 (木) 大掃除
金 5~8	物理学実験B	社建 電気 知能 検査	後半	10/5 (金)	10/12 (金)	10/19 (金)	10/26 (金)	11/2 (金)	11/16 (金)	11/27 (火)	11/30 (金) 補 講
	化学実験B	社建 電気 検査	前半								11/30 (金) 大掃除
後期クォーター4											
木 5~8	物理学実験B	医学	前半	11/29 (木)	12/6 (木)	12/13 (木)	12/20 (木)	1/10 (木)	1/17 (木)	1/24 (木)	1/31 (木) 補 講
	化学実験B		後半								1/31 (木) 大掃除
金 5~8	物理学実験B	社建 電気 知能 検査	前半	11/30 (金)	12/7 (金)	12/14 (金)	12/21 (金)	1/11 (金)	1/22 (火)	1/25 (金)	2/1 (金) 補 講
	化学実験B	社建 電気 検査	後半								2/1 (金) 大掃除

※対象学生の(学籍番号の前半)・(学籍番号の後半)の振り分けについては、掲示等でお知らせします。

6 専門基礎系列 学部専門基礎分野(初習外国語)の履修について

(経済学部と医学部医学科以外の学部・学科は、この項目の内容は該当しません)

初習外国語は、医学部医学科にはドイツ語、フランス語、中国語、ハングルの入門授業が開設され、経済学部には中国語、ハングルの初級授業が開講されます。それぞれの授業概要は、以下のとおりです。

(1) 経済学部について

経済学部には、中国語、ハングルの初級授業が開設されます。それぞれの外国語の初級を学習するための授業で、週2コマ(前期は1Aおよび1B、後期は2Aおよび2Bそれぞれ1コマずつ)を受講し、前期4単位、後期4単位の合計8単位を同一言語・指定教員で履修してください。

なお、中国語・ハングルともに学籍番号によるクラス指定となっており、ハングルは定員50名を超えた場合、調整することがあります。

また、中国語について、場合によっては指定された学籍番号のクラス以外に振り分けられることもあります。

学籍番号 (18-1700-●●●-△の下線部)	授業科目名 前期：1A,1B 後期：2A, 2B	担当教員	曜日・時限
001-045	中国語初級1A, 2A	齊藤匡史	月5・6
	中国語初級1B, 2B	何 暁毅	水5・6
046-090	中国語初級1A, 2A	河村誠治	月5・6
	中国語初級1B, 2B	何 暁毅	水9・10
091-135	中国語初級1A, 2A	一木達彦	水5・6
	中国語初級1B, 2B	袁 麗暉	月5・6
136-180	中国語初級1A, 2A	永富健史	水5・6
	中国語初級1B, 2B	梁 蕾	水9・10
181-225	中国語初級1A, 2A	宇 芳	水5・6
	中国語初級1B, 2B	張 玲	水9・10
226-270	中国語初級1A, 2A	一木達彦	水9・10
	中国語初級1B, 2B	呉 靄	月5・6
271-315	中国語初級1A, 2A	呉 菲	水9・10
	中国語初級1B, 2B	張 玲	水5・6
316-	中国語初級1A, 2A	永富健史	水9・10
	中国語初級1B, 2B	李 海英	水5・6
001-180	ハングル初級1A, 2A	深美寛人	月3・4
	ハングル初級1B, 2B	深美寛人	水5・6
181-	ハングル初級1A, 2A	深美寛人	月5・6
	ハングル初級1B, 2B	深美寛人	水9・10

(2) 医学部医学科について

医学部医学科には、ドイツ語、フランス語、中国語、ハングルの入門授業が開設されます。それぞれの外国語の入門を学習するための授業で、週1コマを受講し、前期2単位、後期2単位の合計4単位を同一言語・教員で履修してください。

また、選択した言語で受講者数が定員(ドイツ語：30名、フランス語：30名、中国語：30名、ハングル：30名)を超えた場合は、抽選となります。受講定員に達したクラスがある場合は、1回目の授業で抽選を行いますので、必ず出席してください。抽選方法については、授業中に指示します。

なお、すべてのクラスの1回目の授業は、抽選やオリエンテーションを行います。落選した学生は、他の言語または他のクラスでの受講となりますので、履修登録を修正し、2回目の授業から受講して下さい。

	言語	授業科目名	担当教員	曜日・時限
1	ドイツ語	前期：ドイツ語入門1 後期：ドイツ語入門2	DOBRA FELICITAS VIKTORIA URSULA (ドーフフェリツィタスヴィクトリアウルスラ)	水曜日9・10時限 金曜日1・2時限
2	中国語	前期：中国語入門1 後期：中国語入門2	何 曉毅	木曜日7・8時限 木曜日1・2時限
3	フランス語	前期：フランス語入門1 後期：フランス語入門2	Beausir Jean-Claude (ボシール ジャンクロード)	木曜日7・8時限 木曜日1・2時限
4	ハングル	前期：ハングル入門1 後期：ハングル入門2	朴 賢珠	水曜日9・10時限 金曜日1・2時限

(3) 外国人留学生等の履修について

所属する学部によっては、外国人留学生は、初習外国語の1つとして日本語の授業を選択できる学部があります。日本語の単位設定等については、所属する学部により異なりますので、各学部の『履修の手引』に掲載されているカリキュラム表を参照して履修してください。

なお、中国語を主な使用言語とする外国人留学生、および中国語使用圏にて多年にわたり中国語による教育を受けた学生（日本人学生を含む）については、中国語の授業の履修はできません。

(4) 海外中国語研修について

中国語では、夏季休業期間および学年末休業期間に、4週間程度の海外語学研修を年2回実施します。研修プログラムの内容は、主に中国語を履修している学生を対象としたもので、中国の提携大学において、発音、表現、文法、会話などを集中的に学習します。また文化講座や各地への参観、交流、旅行なども組み込まれており、中国語の運用能力の向上と中国理解を深めるのに役立ちます。ただし、この研修に参加しても単位が修得できるものではありません。

※ 研修の詳細は、掲示や説明会で確認してください。

7 日本語の履修について

(留学生以外の学生は、この項目の内容は該当しません)

(1) 「日本語」について

共通教育科目では、外国人留学生のための授業科目として、「日本語」を開設しています。修得した「日本語」の単位数の取り扱い等については、所属する学部により異なりますので、各学部の『履修の手引』に掲載されているカリキュラム表を参照して、履修してください。

(2) 「日本語」の履修について

「日本語」の履修を希望する学生は、以下のようにしてください。

- ①前の学期に日本語を履修した者：(原則として)所定の単位や成績を修めた場合は、次のレベルの科目を履修してください。単位が取得できなかったり、成績が次に進むレベルに達していなかった場合は、日本語教員の指示に従ってください。
- ②前の学期に日本語を履修しなかった者：前期と後期初めに実施するJ-CAT日本語テスト(以下J-CAT)を受験してください。履修するクラスは、J-CATの成績により決定されます。
- ③山口大学に留学して最初の学期の者：来日時のオリエンテーションの指示に従ってください。
 - ★J-CATの日時や場所など、プレースメントテストの情報は、学内掲示および『日本語履修案内』で通知します。
 - ★奨学金の提出資料としてJ-CATが必要な場合、団体受験が必要です(個人で受験した試験結果は無効です)。

団体受験は、各学期初めのプレースメントテスト1回しか行われませんので、プレースメントテストを必ず受けてください。

(3) J-CAT日本語テストについて

J-CATとは、山口大学留学生センターおよび筑波大学等が共同開発した日本語能力判定のテストです。コンピューター上で受験でき、日本語プレースメントテストとして1年に2回実施しています。

YUTAKA留学生奨学金B申請者へはJ-CATの受験を義務づけていますので、同奨学金へ申請を希望する学生は、「日本語」の授業を履修しない場合でも必ず受験してください。同奨学金についての詳細は、学生支援課留学生交流係にお問い合わせください。

8 教育職員免許状について

(1) 教育職員免許状取得に必要な共通教育科目

教育職員免許状の取得を希望する学生は、所属する学部学科等において開設されている教職課程関連の授業科目のほか、以下の共通教育科目の単位を修得する必要があります。

教育職員免許状取得に必要な共通教育科目

- | | |
|--|-----|
| ① 日本国憲法 | 2単位 |
| ② 運動健康科学 | 1単位 |
| ③ スポーツ運動実習 | 1単位 |
| ④ 英語会話 I a・英語会話 I b・英語会話 II a・英語会話 II b から | 4単位 |
| ⑤ データ科学と社会 I | 1単位 |
| ⑥ データ科学と社会 II | 1単位 |

履修上の注意

- 「日本国憲法」の履修について
 - ① 「日本国憲法」を必修とする教育学部の1年生、および教育職員免許状取得のために履修する1年生は、所属学部学科等ごとに受講可能な曜日・時限が指定されていますので、クラス指定された曜日・時限に履修してください。
 - ② 対象学生について
教育職員免許状取得を希望しない1年生は、履修できません。
- 「スポーツ運動実習」の履修について
 - ① 対象学生について
教育職員免許状取得を希望しない1年生は、履修できません。ただし、教育学部の学生は、必ず全員履修してください。
 - ② 「スポーツ運動実習」を必修とする教育学部の1年生、および教育職員免許状取得のために履修する1年生は、所属学部学科等ごとに受講可能な曜日・時限が指定されていますので、クラス指定された曜日・時限に履修してください。
 - ③ 選択種目の決定について
「スポーツ運動実習」の履修を希望する学生は、各学期、各曜日時限の第1週目の授業で、選択種目および担当教員を決定しますので、第1体育館に必ず集合してください。第1週目の授業は、種目の割振りのみになりますので、服装は普段着で構いません。なお、履修希望者多数の場合には、抽選等により履修制限を行います。

スポーツ運動実習⇒第1回目は第1体育館に集合

- 「英語会話」の履修について
英語系列科目の履修方法(P.20参照)に従って、「英語会話 I a」・「英語会話 I b」・「英語会話 II a」・「英語会話 II b」から4単位を修得してください。

(2) 教育職員免許状取得に必要な教職課程関連授業科目について

教育職員免許状は、所属する学部学科等により、取得できる免許状の種類や教科が異なります。また、単位修得が必要な教職課程関連の授業科目の履修方法は、学部学科等、取得を希望する免許状ごとに異なりますので、所属学部の履修の手引き等を熟読し、各学部の指導に従ってください。

(3) 教育職員免許状取得のために1年生のうちにしておくべきこと

① 「教職概論」(教職に関する科目)の履修

1年次前期に開設されています。ただし、工学部で「工業」の免許状の取得を希望する学生については、「教職に関する科目」を「教科に関する科目」で替えることができるため、「教職概論」の履修は不要です。

② 教職オリエンテーションへの参加

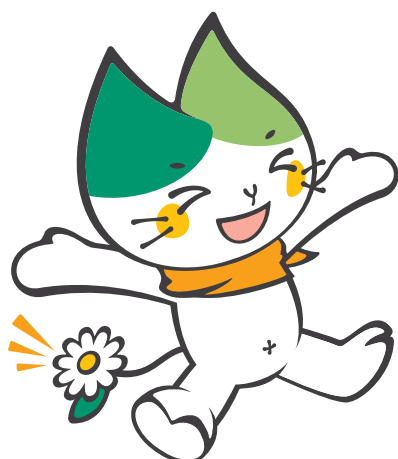
1年次後期に開催されます。事前に参加申込が必要ですので、掲示を見落とさないようにしてください。

養護教諭二種免許状の取得を希望する場合

医学部保健学科の学生が、保健師の資格を基礎に養護教諭二種免許状を取得しようとする場合は、教科に関する科目・教職に関する科目の履修や教職オリエンテーションへの参加は不要ですが、(1)に示した共通教育科目の単位を修得する必要があります。

Q：教育職員免許状を取得したいのですが？

A：教育職員免許状については、免許状の種類(小学校や中学校等)や教科(数学や英語等)により区分されています。教員免許を取得する学生のみなさんは、所属する学部において開設されている教職科目(「教科に関する科目」と「教職に関する科目」とがあります)の単位を修得しなくてはなりません。そして、3年次または4年次において、「教育実習」を行い、4年次後期に「教職実践演習」を修得しないとはいけません。また、小学校または中学校の教育職員免許状の取得を希望する学生のみなさんは、「介護等の体験実習」も必要となります。教育学部を除く学部等に所属する学生のみなさんは、教職科目等の単位については、卒業に必要な単位に算入されないものがあります。1年次からの計画的な履修を心がけるとともに、相当の覚悟と努力が必要となります。



9 教養展開科目について

教養展開科目は、「発見し・はぐくみ・かたちにする”ための発展的教養を習得するため、「国際展開」,「地域展開」,「知財展開」,「ユニバーサルデザイン展開」の各授業科目が用意されており、所属する学部により卒業要件が異なります。詳しくは各学部の『履修の手引』をご覧ください。

【1】国際展開系列

(1) 国際展開科目

TOEIC 400点に到達することを目標とする授業、TOEIC 730点に到達することを目標とする授業、英語で行う授業等があります。

(2) 海外英語研修

「海外英語研修」とは、約4週間の海外英語研修プログラムに参加し、英語コミュニケーション能力の向上を目的として実施される授業科目です。海外英語研修プログラムは、夏季休業期間と学年末休業期間の年2回実施されます。研修先は、リジャイナ（カナダ）、ニューカッスル（オーストラリア：学年末休業期間の年1回）、またはロンドン（イギリス：夏季休業期間の年1回）になります。研修費等は受講者の負担になります。この授業科目の単位を修得するためには、説明会に出席した後、出発前の事前指導、帰国後の発表会に参加しなければなりません。受講がない場合の単位は認められませんので注意してください。

なお、「海外英語研修」については、前期または後期の学期の始めに履修登録する必要はありません。また、当該授業科目の単位数については、履修科目の登録の上限単位数に含まれません。履修方法については、掲示を確認してください。

注意1

「海外英語研修」の成績評価は、研修を受けた学期の次の学期に、研修を受けた学期の単位として評価されます。したがって、9月卒業予定者は当該年度前期、3月卒業予定者は当該年度後期の受講はできません。また、進級基準が設けられている学部学科では、進級する直前の学期に受講したとしても、進級基準の対象単位として認められないので、十分留意してください。

注意2

「海外英語研修」の単位修得を目指す場合、事前研修が始まるまでに、共通教育係の窓口を受講票を必ず提出してください。提出がない場合、単位修得が認められないことがあります。

【2】知財展開系列

(1) 知財展開科目

知的財産に関する様々な法律（著作権法、特許法等）、農業における知的財産権の役割と機能、知的財産に関する情報収集とその分析に必要な知識とスキル獲得を目指した授業等、様々な授業があります。

【3】地域展開系列

(1) 地域展開科目

YFL育成プログラムにおいて履修する、地域協働課題解決型インターンシップ、企業協働課題解決型インターンシップ等があります。

【4】ユニバーサルデザイン展開系列

(1) ユニバーサルデザイン展開科目

障害者支援やアクセシビリティについての幅広い知識や支援技術を習得し、障害者と社会とを結びつけるコーディネーター的な役割を担う力を養うための授業で、アクセシビリティや障害者支援の基礎的知識を学ぶ授業や、自律的に支援やコーディネートに取り組める人材を育成するための演習、支援スキルを学ぶための実習等があります。

10 その他の履修上の注意

(1) 履修科目の登録の上限

① 履修科目の登録の上限とは

履修科目の登録の上限とは、前期または後期において、履修登録できる授業科目（専門科目を含む）の総単位数に上限を設定することをいいます。履修登録の上限を設定することは、前期または後期において、履修登録できる授業科目数を制限することによって、学生のみなさんに無理な負担を強いることなく、十分な学習効果を上げる学習環境をつくることを目的としています。この上限単位数は、当該期の履修登録する卒業に必要な科目のうち、共通教育科目と専門科目の単位の合計にて計算します。

なお、履修科目の登録の上限については、所属する学部や学科により異なっていますので、履修登録の際には、以下の表を参照しながら上限の単位数を超えないように履修登録をしなければなりません。備考に「推奨単位数」とある学部は、この表の単位数を目安として履修登録してください。

学部	学科・課程	履修登録上限単位数		備考
		前期	後期	
人文学部	人文学科	26単位	26単位	
教育学部	すべてのコース・選修	30単位	30単位	
経済学部	すべての学科・課程	26単位	26単位	
理学部	すべての学科	30単位	30単位	
医学部	医学科	30単位	30単位	推奨単位数
	保健学科	25単位	25単位	推奨単位数
工学部	すべての学科	30単位	30単位	推奨単位数
農学部	生物資源環境科学科	22単位	24単位	推奨単位数
	生物機能科学科	24単位	24単位	推奨単位数
共同獣医学部	獣医学科	50単位		1年間の合計の上限単位数

② 上限単位数に含まれない授業科目

履修科目の登録の上限の単位数に含まれない授業科目については、所属する学部により異なっていますので、所属する学部の教務（学務）担当係の指示に従ってください。

なお、共通教育科目においては、履修科目の登録の上限の単位数に含まれない授業科目は以下のとおりです。



上限単位数に含まれない共通教育科目

- 単位認定された授業科目（既修得単位認定）
- 「海外英語研修」および共通教育科目の集中講義
- その他、共通教育科目における卒業に必要な単位数に算入されない授業科目

(2) クラス指定の授業科目について

授業科目には、学部および出席番号（学籍番号の【18-●●●●-●●●-●】の下線部）によりクラス指定されているものがあります。クラス指定された授業科目については、該当する対象学生用に授業内容が構成されていますので、該当学生以外履修することはできません。ただし、2年次以上の学生は、必修科目や専門科目と重複するなどの特別な理由がある場合に限り、これによらず希望クラスを受講することができます。ただし、2年次以上の指定があるものは指定の次の年次から、特別な理由がある場合は、希望するクラスを受講できます。その場合は、担当教員にその旨を申し出てください。クラス指定については、別冊子『共通教育時間割表』を参照してください。

(3) 重複履修の禁止

同一の期間・曜日・時限において、2つ以上の授業科目を重複履修することは原則できません。重複履修の場合には、そのすべての単位を無効とします。

(4) 既修得授業科目の再履修について

積み上げ履修（P.13参照）可能な授業科目を除いて、すでに単位を修得した授業科目を再び履修し単位を修得しても、卒業に必要な単位数に加算することはできません。積み上げ履修できない授業科目には十分注意してください。

また、すでに単位を修得した科目の評価については、再び単位を修得したとしても過去の評価を改変することはできません。つまり、『可』の評価であったものについて、再履修により『優』の評価を受けたとしても、『可』の評価に『優』の評価を加えることにはなりません（『可』の評価を抹消することはできません）。



Ⅶ. 共通教育の定期試験について

1 定期試験について

(1) 定期試験

共通教育科目の定期試験については、原則としてクォーター科目は第7または第8週目に、セメスター科目は第15または第16週目に、筆記試験により実施します。ただし、担当教員によっては、定期試験に代えて、レポート等の提出や実技・演習等により行われることもあります。

なお、担当教員によっては、中間試験等を実施することもありますので、各授業時間内におけるお知らせや掲示、修学支援システム内の連絡事項等に注意しておいてください。

Q：大学の定期試験は、どのように実施されるの？

A：大学の定期試験については、授業内容に沿った筆記試験を行うものが多いですが、定期試験を実施しない科目や、定期試験の代わりに、レポートを提出させたりする科目もあります。また、筆記試験に際しても、テキストやノートの持込を許可している科目もあります。このように、大学の定期試験は、高等学校の定期試験と異なり、教員ごとに、多種多様な形式により実施されます。授業ごとの定期試験の有無については、共通教育シラバスに記載されていますので、最初に確認しておくとい良いでしょう。また、授業に出席していると、教員から定期試験のヒントを得られたりすることもあります。教員や友人・先輩からいろいろな情報をキャッチして、その情報に基づいて、きちんと学習に取り組んでいけば、きっと良い結果を期待できるはずですよ。それから、定期試験の際には、決してカンニング（不正行為）を行わないでください。試験監督者に聞いてみると、「態度や仕草を見ていれば、カンニングをしている学生は、すぐにわかる！」そうですよ。

(2) 定期試験の時間割発表

共通教育科目における定期試験の時間割の発表は、定期試験開始日の1週間前に掲示等により行います。試験教室が講義時の教室と異なることがありますので、必ず確認して下さい。

なお、専門科目の定期試験の時間割等については、所属する学部の指示に従ってください。

2 定期試験の受験上の注意

(1) 不正行為

定期試験等において、不正行為を行った学生については、その行為が発覚した時点から謹慎処分となり、原則その学期における当該学生の履修した授業科目すべての単位が無効となる上、学則により相応の懲戒処分を受けることとなります。

(2) 学生証の提示

定期試験を受験する際には、必ず学生証を持参し、机の上に提示してください。学生証を忘れた学生については、定期試験を受験することができません。

もし忘れた場合は、「臨時学生証」を発行しますので、共通教育係に申し出てください。

(3) 試験室の入室等について

試験室には、試験開始時刻の5分前に入室し、他の学生と隣り合わないよう、横に一人分のスペースを空けて、着席してください。

なお、担当教員により座席指定されている場合には、指定された座席に着席してください。

(4) 定期試験時間中の所持品等について

筆記用具およびあらかじめ許可されたもの以外のものについては、机の上に置くことはできません。定期試験に必要としない所持品（筆箱および下敷き等を含む）等については、かばんの中に入れ、机の下に置いてください。

特に、携帯電話については、電源を必ずオフにして、その他の所持品等と同様に、かばん等の中に入れてください。原則として、携帯電話を時計代わりに使用することは禁止されています。

(5) 遅刻者および退出者の取り扱い

試験開始から20分以上遅刻した学生については、受験することができません。

また、試験開始から30分以上経過するまでは、試験室から途中退出することができません。

(6) その他の注意事項

定期試験の解答用紙には所属学部・学科等、学籍番号および氏名を最初に明記してください。これらを記入していない答案については、無効となることがありますので注意してください。

また、定期試験時間中に、試験監督者の指示および注意事項を遵守しない学生については、退席を命じられることがあります。

3 追試験について

(1) 追試験とは

追試験とは、定期試験を受験できない事由のある学生を対象として、学生本人の申請に基づき、その事由を『真にやむを得ない事由』として認める場合に限り実施する試験です。

(2) 『真にやむを得ない事由』および申請に必要な証明書類

追試験の対象となる『真にやむを得ない事由』については、以下のとおりです。

なお、追試験を申請する際には、それぞれの事由に該当する証明書類を必ず提出してください。

『真にやむを得ない事由』	必要な証明書類
疾病	医師の診断書等
忌引（2親等内の親族に限る）（注）	会葬御礼の書面等
公共交通機関の事故または遅延	公共交通機関発行の事故（遅延）証明書
国家（地方）公務員試験の第2次試験受験	第1次試験の合格通知書
不慮の事故	第三者の証明（交通事故の場合は事故証明書）
大学教育センター長が、真にやむを得ない事由であると認めた場合	追試験を必要とする経緯を示した書面等

（注）共通教育における忌引の期間は、配偶者または父母：7日以内、子：5日以内、配偶者の父母：3日以内、2親等の親族：3日以内とする。

(3) 追試験の申請手続（印鑑を持参して下さい）

原則として、事前に『共通教育科目追試験願』に所定事項を記入および押印し、受験することができない事由を証明する書類を添付して共通教育係に提出してください。

なお、事前に申請することが時間的に困難な場合には、該当する授業科目の定期試験開始前までに、共通教育係に連絡し、了承を得てください。この場合の申請書類については、該当する授業科目の定期試験実施日から1週間以内に、共通教育係に提出してください。

なお、専門科目については、所属する学部の教務（学務）担当係で手続してください。ただし、医学部および工学部の1年生については、共通教育係で手続してください。

(4) 追試験の実施

追試験については、当該の学期の定期試験終了後に、速やかに実施します。

なお、追試験の実施日時および試験室等については、共通教育係から申請者本人に連絡し、相談のうえ実施します。

4 成績について

(1) 成績の通知について

当該期の成績は、修学支援システム内で成績開示日以降に閲覧することができます。成績が開示される日程は、学部毎に異なります。所属する学部の教務（学務）担当係から掲示等により日程をお知らせします。

なお、共通教育係においては、いかなる事由によっても、個別に成績を通知することはありません。

(2) 成績の見方について

成績は、共通教育シラバスに掲載されている各授業科目における担当教員の成績評価方法（定期試験（中間試験および期末試験）の成績、小テスト、レポート、宿題、授業態度等）によって、100点法により算出されます。

担当教員の評点に基づいて、60点以上の場合はその授業科目を合格とし、単位を修得することができますが、59点以下の場合にはその授業科目を不合格とし、単位を修得することができません。なお、担当教員の評点に基づく成績の評語については、右表のとおりです。

評語	評点	合否種別
秀	100点 ~ 90点	合格
優	89点 ~ 80点	
良	79点 ~ 70点	
可	69点 ~ 60点	
不可	59点 ~ 0点	不合格

(3) 認定単位について

評点で評価されない科目（例 他大学等での既修得単位の認定等）では、評語「認定」を用いてその科目が合格していることを表します。

(4) 成績の自己管理

卒業するまでの成績および単位数については、修学支援システム内の成績照会等にて、自己の責任により自分の単位修得状況等を正確に把握しておいてください。

成績の自己管理を怠っていると、単位数の修得状況の勘違い等により卒業（進級）できない事態を招きかねませんので、注意してください。

(5) 成績に関する問い合わせ

共通教育科目の成績に関する問い合わせについては、共通教育係に申し出てください。

なお、成績に関する問い合わせをする際には、修学支援システム内の個別成績表を印刷し、それを必ず持参してください。

Q：共通教育科目の修得単位、どうやって管理するの？

A： 繰り返しになりますが、学生のみなさんが修得した成績および単位については、自分自身が正確に管理しないといけません。例えば、4年生になって、所属する学部の教務（学務）担当係から、「共通教育科目の〇〇の単位を修得していないから、今年の前期に単位を修得しないと卒業できません！」と、連絡されることはありません。

成績および単位の修得状況については、修学支援システム内の成績照会で必ず「今まで修得している授業科目や単位数」や「卒業までに修得しないといけない授業科目および単位数」について、常に正確に把握し、次の学期に、どの授業科目を履修しないといけないか、自分自身が決定しなくてはなりません。「成績の確認→次の学期の履修登録」にあたっては、学生のみなさん自身が、細心の注意を払う必要があります。

単位修得状況等に少しでも不安がある場合には、早めに所属する学部の教務（学務）担当係に相談してください。

Ⅷ. 学外における授業科目の履修等について

1 既修得単位の認定について

(1) 既修得単位認定制度とは

他大学（放送大学を含む）または短期大学、大学以外の教育施設において、修得した単位および資格について、既修得単位認定の希望者からの申請により、本学における審査に基づき、その修得単位のうち60単位を最大として、本学における修得単位として認定する制度です。

(2) 既修得単位認定の申請

既修得単位認定の希望者は、所属する学部の教務（学務）担当係に問い合わせてください。

2 放送大学の授業科目の履修について

(1) 放送大学の単位互換

山口大学と放送大学との単位互換協定に基づき、放送大学の授業を履修して、単位認定試験により単位を修得すれば、本学における卒業に必要な単位（共通教育科目または専門科目）として認定することができます。

(2) 放送大学の授業科目の履修について

平成30年度・第2学期（平成30年10月1日～平成31年3月31日）における放送大学の授業科目受講に関する概略は、以下のとおりです。また、放送大学の資料等は、教育支援課教育企画係、および各学部教務（学務）担当係にありますので、参照してください。

出願手続 詳細については、掲示等によりお知らせします。

学費 授業料：1科目（2単位）あたり11,000円（入学料は免除）

履修方法 B S デジタル放送またはDVD・CDの視聴および教科書による通信指導

認定試験 山口学習センターにおいて、実施されます。授業科目によっては、山口大学の学期末定期試験と日程が重複することがありますので注意してください。

なお、平成31年度・第1学期以降については、掲示等、学部の指示に注意してください。

(3) 放送大学の授業科目の履修に関する問い合わせ

履修できる授業科目および修得できる単位数は、所属する学部により異なりますので、事前に所属する学部の教務（学務）担当係に問い合わせてください。

3 山口県立大学、山口学芸大学、山口芸術短期大学および宇部フロンティア大学の授業科目の履修について

(1) 山口県立大学、山口学芸大学、山口芸術短期大学および宇部フロンティア大学との単位互換

山口大学と山口県立大学、山口学芸大学、山口芸術短期大学および宇部フロンティア大学との単位互換協定に基づき、同大学等の授業を履修して、学期末定期試験により単位を修得することにより、本学における必要な単位（共通教育科目または専門科目）として認定することができます。

(2) 山口県立大学、山口学芸大学、山口芸術短期大学および宇部フロンティア大学の授業科目の履修に関する問い合わせ

履修できる授業科目および修得できる単位数は、所属する学部により異なりますので、事前に所属する学部の教務（学務）担当係に問い合わせてください。

4 派遣留学先の授業科目の認定について

(1) 派遣留学における単位認定

山口大学においては、諸外国の大学等教育機関と、大学間または学部間の学術交流協定を締結し、学生交流を推進しています。本学の派遣留学生となり、交流協定先大学の授業等を履修して、単位の認定を受ければ、本学における卒業に必要な単位（専門科目）として認定されることがあります。

(2) 派遣留学に関する問い合わせ

派遣留学に関する問い合わせについては、所属する学部の教務（学務）担当係または学生支援課留学生交流係に問い合わせてください。また、派遣留学先における修得単位の認定については、所属する学部の教務（学務）担当係に問い合わせてください。

Ⅸ. 共通教育におけるその他の注意点について

1 共通教育に関する諸連絡等について

(1) 大学生活における心得－自己責任

山口大学において、学生のみなさんが学習していく過程であって、もっとも大切なことは、すべての行動について自己責任を負うということです。社会人としては当然のことですが、自分自身の行動には、自分自身が責任を持つという態度が、大学生の最低限のルールです。

(2) 掲示等の確認について

共通教育科目に関する学生への諸連絡については、P.47共通教育棟配置図内の『共通教育掲示板1』（授業等の連絡用）、『共通教育掲示板2』（TOEIC・厚生関連の連絡用）および『共通教育掲示板3』（休講・学生呼び出しの連絡用）で掲示により指示しますので、1日1回程度、掲示板を忘れずに確認してください。

また、個人向けの連絡は、『共通教育掲示板2』以外にも山口大学Webメールや修学支援システムで行うことがあります。携帯電話へのメール転送設定（Webメールの設定方法はメディア基盤センターHPを、修学支援システムの設定方法は別冊子『修学支援システム操作マニュアル』を参照）等を利用して、まめに確認するようにしてください。

掲示等の見落としによって、レポートの提出期限に遅れたり、各種のオリエンテーションを欠席したり、休講や教室変更の情報を得られなかったりして不利益を生じることがあります。これらの不利益は、自分自身の不注意によるもの以外の何ものでもありません。自己責任の意識を明確に持って行動してください。

(3) レポート提出について

担当教員によっては、授業時間内または掲示等により、レポート提出の指示がある授業科目があります。担当教員の指示に基づきレポートを作成して、所定の提出場所および提出期限等を厳守し、提出してください。

なお、担当教員から特に用紙等の指示がない場合には、できるだけA4版のレポート用紙を使用し、所属する学部および学科・課程、学籍番号、氏名を明記してください。

また、共通教育係レポートボックスを提出場所としているレポートで、担当教員から特に提出期限の時刻を定められていない場合には、その時刻については、提出期限日の17時（厳守）としますので、遅れないように提出してください。

レポート提出期限日だけ指定されている場合 ⇒ 提出期限日の17時が締め切り

(4) 欠席届について

大学での授業は、すべて出席していることが前提ですが、疾病、忌引、教育実習、就職試験等やむを得ない事由により共通教育科目の授業を欠席する場合（定期試験を欠席する場合は、P.33「3. 追試験について」を参照）には、欠席届を提出してください。欠席届は共通教育係にありますので、必要な場合は窓口までお越しください。必要事項を記入後、担当教員の研究室を訪ねるか、翌週の授業の際に担当教員に提出してください。**専門科目の欠席届（様式）については、授業を開講している学部の教務（学務）担当係の指示に従ってください。**

なお、欠席届は、担当教員に欠席を届け出るだけのものであり、必ずしも出席扱いになるものではありません。

(5) 教育支援課共通教育係の業務時間について

掲示等により呼び出しされた場合や履修および成績等に関するアドバイスを受ける場合には、学生のみなさんが共通教育係に出向き、行うことになっています。共通教育係においては、以下の業務時間に窓口対応を行っています。

また、学割証等を発行している証明書自動発行機についても、次ページの業務時間に準じて稼働していますので、注意してください。

なお、共通教育係においては、原則として、電話による問い合わせについては受け付けていません。

業務時間 8時30分～18時00分（大学休業日（土曜日、日曜日および祝祭日）を除く）
ただし、17時15分～18時00分については、係員1名の対応となります。
また、長期休業期間中については、8時30分～17時15分となります。

(6) 個人情報の取り扱いについて

本学では、大学に提出された書類に記入されている家族および学生本人の個人情報について、大学からの緊急時の連絡以外には、利用することはありません。国立大学法人山口大学における個人情報保護に関する基本方針に基づき、学生の個人情報を保護しています。

なお、課題レポート等を学部・学科ごとおよび科目別クラスごとにボックス等で配布・返却を行うことがありますので、ご了承下さい。個人情報の取扱いについて疑問や不安を感じた場合は、共通教育係に申し出てください。

2 気象事象による災害発生の恐れがある場合の授業および定期試験の取り扱いについて

(1) 気象事象による災害発生の恐れがある場合の授業および定期試験の休講措置について

山口市、宇部市、広島市および福岡市に特別警報（高潮および波浪は除く）および台風に伴う暴風警報が発令された場合には、各地区キャンパスの授業および定期試験について、以下のとおり措置されます。なお、1時限開始前に発令された場合には、1時限から休講となり、休憩時間に発令された場合は、次の時限から休講となり、授業および定期試験開始後に発令された場合は、それ以後に開始される午前または午後の授業および定期試験が休講となります。

対象時刻	警報発令状況	対応措置等
午前 7 時	解除されている場合	終日授業等実施
	発令されている場合	午前授業等休講
午前 11 時	解除されている場合	午後授業等実施
	発令されている場合	午後授業等休講

(2) 休講等措置の周知方法について

学生のみなさんは、マスメディア等により警報の発令状況等を確認して対応してください。

なお、休講等措置については、共通教育および各学部の掲示板においても掲示されます。さらに、授業時間中に休講等措置を決定した場合には、各授業の担当教員からも通知されます。また、吉田地区はWebによっても確認することができます。

「山口大学ホームページ」→「学生生活・就職情報」→「災害時休講情報」

(3) 特別警報および台風以外の緊急事態における授業および定期試験の取り扱いについて

山口地区キャンパスに特別警報および台風以外の緊急事態が発生し、授業および定期試験に支障があると予想された場合には、副学長（教育学生担当）が休講等の措置を決定します。

宇部地区、広島地区および福岡地区キャンパスの休講措置については、学部長または研究科長が副学長（教育学生担当）と協議し決定するものとします。

3 共通教育棟の使用について

(1) 学生ラウンジ使用について

共通教育棟本館には、ラウンジが各階にあります。他の利用者や授業の迷惑にならないように利用してください。

利用時間 8時30分～18時00分

*大学休業日、土日祝祭日は施設します。

(2) 授業時間帯の教室使用について

授業時間帯の教室使用については、授業に使用されていない教室であれば、他の授業に支障のない限り、使用することができます。ただし、使用後にあっては、板書を消し、窓締めおよび消灯を確認してから退出してください。プロジェクター等の視聴覚機器については、故障の原因になりますので触れないでください。

(3) 授業時間帯以外の教室使用について

サークル活動等により授業時間帯以外に教室を使用する場合には、学生支援課に問い合わせてください。ただし、使用後にあっては、板書を消し、清掃を行い、窓締めおよび消灯・施設を確認してから退出してください。器物を破損等した場合には、速やかに届け出てください。

なお、入学試験等の学校行事および学会の開催等により使用できない場合もありますので、使用日については、事前に学生支援課に確認してください。

(4) 駐車および駐輪について

自動車およびバイクの入構については、あらかじめ許可された自動車以外の入構を禁止しています。許可された自動車およびバイクについては、所定の駐車場または駐輪場に駐車してください。自動車およびバイクによる構内の移動についても認められていません。

また、自転車についても許可を受けた自転車しか入構できません。他の学生および緊急車両等の通行の妨げになりますので、必ず所定の駐輪場に駐輪してください。共通教育棟玄関前や共通教育棟周辺の道路および通路等に駐輪している自転車および入構証（ステッカー）のない自転車については、強制的に撤去することがあります。

(5) 遺失物の取り扱いについて

共通教育棟およびその周辺において所持品等を紛失した場合には、共通教育係に届いていることがあります。届いた遺失物のうち、所有者の明らかなものについては、掲示やWebメール等により連絡します。それ以外の遺失物については、共通教育係の遺失物書架に保管していますので、自分のものがある場合には、窓口に申し出てください。なお、共通教育係の遺失物書架に6か月保管したのちは処分します。

テキストおよび辞書等の遺失物が多いので、みなさんの所有物については、所属する学部および学科・課程、学籍番号および氏名を明記しておいてください。

(6) ゴミの分別について

ゴミは、燃えるゴミ、燃えないゴミ、ビン、缶、ペットボトルに分別して、所定のゴミ箱に捨ててください。マナーを守り、快適な講義環境を保つようにしてください。

(7) その他の注意事項

授業の終了後等に、最後に教室を退出する場合には、板書を消し、窓締めおよび消灯を確認してから退出してください。器物等を破損した場合または器物等の破損および漏水等を発見した場合には、速やかに共通教育係に申し出てください。

(8) 教室における活動の制限

料金の徴収や物品の販売等の営利行為を目的とする場合や、政治的および煽動的な活動を目的とする場合には、教室を使用できません。このような活動を行っている場合には、直ちに教室の使用を中断させ、強制的に退出させます。

4 共通教育メディア教育棟情報処理演習室の使用について

(1) 情報処理演習室について

共通教育メディア教育棟において、情報処理演習室（演習室Ⅰ：50台、演習室Ⅱ：50台）を設置しています。授業等に使用されていない時間帯は、開放教室として学生のみなさんの自習等に利用することができますので、有効に活用してください。

なお、情報処理演習室の利用にあたっては、情報処理演習室に掲示されている利用上の留意事項等を熟読して、利用マナーを遵守してください。

(2) 利用時間について

利用時間については、授業に使用されている時間を除いた以下の時間となっています。ただし、利用可能な時間帯であっても、集中講義や研修会等の実施により利用できない場合もありますので、共通教育メディア教育棟の掲示に留意してください。

利用時間 8時30分～17時15分（大学休業日（土曜日、日曜日および祝祭日）を除く）

5 共通教育本館コインロッカーの使用について

(1) コインロッカーについて

所持品の一時的な保管庫として、コインロッカーを4階の学生ラウンジ付近に設置しています。有効に活用してください。

(2) 利用時間等について

コインロッカーが利用できる時間は、以下のとおりです。

利用時間 8時30分～18時00分（大学休業日（土曜日、日曜日および祝祭日）を除く）

また、2時間までの使用を原則とし、最大でも1日を超える利用は認めていません。長期占有は厳禁とします。長期占有利用している場合には、使用者に断ることなくコインロッカーを開錠し、物品等を移動させることがあります。

(3) 使用にあたっての留意事項

コインロッカーに保管した物品等が盗難等の被害に遭ったとしても、大学教育センターにおいては一切責任を負うことはできませんので、あらかじめご了承ください。

また、コインロッカーの破損および鍵の紛失等の場合には、原状回復のための修理費用等は、当該使用者の自己負担となります。

6 レポートの剽窃・盗用について

レポートの剽窃・盗用（コピー&ペースト）は不正行為です！！

レポートや卒業論文等の執筆・提出は、定期試験等と並んで大学での勉強の成果の証となる重要なものです。したがって、レポートや論文の書き方のルールを守らないと、不合格になったり、不正行為と判断されて処分の対象になることもあります。

文献あるいはデータベース等から取得した情報を使用する場合、自分の意見表明あるいは自分の研究データ等とは明確に区別しなければなりません。その場合でも、下記に示す「引用」としての使用条件に従う必要があり、この条件に違反すると多くの場合は剽窃・盗用として不正行為になります。

レポートや論文を執筆する際は下記の点に注意して下さい。

自分の意見や研究データ等で執筆した部分とそれ以外を明確に区別する。

上の「明瞭区別性」以外に、下の要件を満たす必要があります。

- 研究等の引用の目的上、必要最小限の範囲内で行う（必要最小限）。
- 引用のある箇所について、自分の文章の方が主で、引用された他人の文献等が量的にも質的にも従である（主従関係）。
- 取得した他人の文献あるいはデータベース等の出典を明示する（出典明示）。

具体的には、引用する場合は一字一句間違えずに正確にそのまま引用する、ウェブサイトからの引用は出典表記としてURLとページタイトルだけでなく取得日も記述する等の細かな作法を守る必要があります。更に、著作権法第35条の権利制限規定との関わりも重要です。

これらの「引用」に関する具体的な作法、その他研究者倫理、著作権法との関係は下記サイトに説明文とビデオを掲載していますので、一通り学習することをおすすめします。

<http://www.kim-lab.info/misconduct.html>





X. 山口大学共通教育科目履修規則

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人山口大学学則（平成16年規則第1号。以下「本学学則」という。）第31条第2項及び第31条の2第2項の規定に基づき、共通教育科目（共同獣医学部にあつては、基礎教育科目を含む。以下同じ。）の履修方法、試験等に関し必要な事項を定める。

(授業科目及び単位数)

第2条 授業科目及び単位数は、別表のとおりとする。

2 各授業科目は、半年学期制により開講するものとする。

3 1授業科目につき修得できる単位数は、原則として4単位、2単位又は1単位とする。

(外国人留学生対象の授業科目)

第3条 前条に定める授業科目のうち、「日本語」の分野の授業科目は外国人留学生対象の授業科目として開設し、修得できる単位数は、各学部が別に定める。

(単位の計算)

第4条 各授業科目の単位の計算は、本学学則第38条第1項各号並びに同条第2項第1号及び第2号の定めるところによる。

(共通教育科目の年次配当)

第5条 各年次における配当は、学部規則の定めるところによる。

(卒業に必要な授業科目及び単位数)

第6条 卒業に必要な共通教育の授業科目及び単位数は、学部規則の定めるところによる。

(履修手続)

第7条 学生は、每学期指定の期日までに、履修しようとする共通教育科目を所属学部長に届け出なければならない。ただし、入学した年度にあつては、山口大学大学教育センター長（以下「センター長」という。）を経て所属学部長へ届け出るものとする。

(履修科目の評価)

第8条 履修科目の評価は、各授業担当の大学教育職員等が、出席状況及び試験の成績等によって行う。

2 評価は、秀、優、良、可及び不可をもって表し、可以上を合格とする。

3 評価は、センター長から当該学部長へ通知する。

(試験)

第9条 試験は、学期末に行う。ただし、必要がある場合は、学期末以外の時期に行うことがある。

2 前項の規定にかかわらず、平常の成績をもって試験に代えることがある。

3 学生は、第7条の手続を経ていない科目については、受験することができない。

(追試験)

第10条 やむを得ない事情により、所定の試験に欠席した者に対しては、特に審議の上、追試験を行うことがある。

2 追試験に関し必要な事項は、別に定める。

(単位の認定)

第11条 単位の認定は、各学部が行う。

(他の大学等及び入学前の修得単位等の認定)

第12条 本学学則第32条から第34条までの規定に基づく共通教育の単位の認定は、山口大学大学教育センターの審査を経て、各学部が行う。

2 前項に関して必要な事項は、別に定める。

(雑則)

第13条 この規則に定めるもののほか、この規則の実施に関し必要な事項は、大学教育機構運営委員会の意見を聴いてセンター長が定める。

(省略)

附則

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成19年3月31日以前の入学者の共通教育科目の授業科目及び単位数は、この規則による改正後の山口大学共通教育科目履修規則別表（第2条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、平成14年度から平成18年度までの入学者の共通教育科目については、従前の表に外国語教育系列の中国語分野の授業科目として「海外語学研修（中国語）（4単位）」を、ハングル分野の授業科目として「海外語学研修（ハングル）（4単位）」を加えたものを適用する。

附則

- 1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年3月31日以前の入学者の授業科目及び単位数は、この規則による改正後の山口大学共通教育科目履修規則第3条及び別表（第2条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附則

- 1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日以前の入学者の共通教育科目の授業科目及び単位数は、この規則による改正後の山口大学共通教育科目履修規則別表（第2条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附則

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附則

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成25年3月31日以前の入学者の授業科目及び単位数は、この規則による改正後の山口大学共通教育履修規則別表（第2条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、次の年度入学者の授業科目及び単位数は、従前の表に当該各号に定める表の授業科目を加えたものを適用する。

附則

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成26年3月31日以前の入学者（同年4月1日以降にその者と同一の年次（その者が留年することなく進級した場合の年次に限る。）に編入学、再入学又は転入学する者を含む。）の共通教育科目は、この学則による改正後の山口大学共通教育履修規則別表（第2条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日以前の入学者（同年4月1日以降にその者と同一の年次（その者が留年することなく進級した場合の年次に限る。）に編入学、再入学又は転入学する者を含む。）の授業科目及び単位数は、この規則による改正後の山口大学共通教育履修規則別表（第2条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附則

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日以前の入学者（同年4月1日以降にその者と同一の年次（その者が留年することなく進級した場合の年次に限る。）に編入学、再入学又は転入学する者を含む。）の授業科目及び単位数は、この規則による改正後の山口大学共通教育科目履修規則別表（第2条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、平成25年度から平成28年度までの入学者（同期間内にその者と同一の年次（その者が留年することなく進級した場合の年次に限る。）に編入学、再入学又は転入学する者を含む。）の共通教育科目については、従前の表に教養展開系列のユニバーサルデザイン展開分野の授業科目として「ユニバーサルデザイン展開科目（1又は2単位）」を加えたものを適用する。

別表（第2条関係）

（1）共通教育科目の授業科目及び単位数（共同獣医学部を除く）

系列	分野	授業科目	単位数	
教養コア	基礎セミナー	基礎セミナー	2	
	情報処理	データ科学と社会Ⅰ	1	
		データ科学と社会Ⅱ	1	
	運動健康科学	運動健康科学	1	
	山口と世界	山口と世界	1	
	キャリア教育	知の広場	1	
キャリア教育		1		
英語	英語	英語Ⅰaまたは英語Ⅱa	2	
		英語Ⅰbまたは英語Ⅱb	2	
		英語会話Ⅰaまたは英語会話Ⅱa	2	
		英語会話Ⅰbまたは英語会話Ⅱb	2	
一般教養	人文教養	哲学	1	
		歴史学	1	
		社会学	1	
	社会教養	経済と法	経済と法1	1
			経済と法2	1
			経済と法3	1
	自然教養	自然科学	自然科学1	1
			自然科学2	1
	学際的教養	人間の発達と育成	人間の発達と育成1	1
			人間の発達と育成2	1
		文化の継承と創造	文化の継承と創造1	1
			文化の継承と創造2	1
		社会と医療	社会と医療	1
		科学技術と社会	科学技術と社会	1
環境と人間		環境と人間	1	
食と生命	食と生命	1		
専門基礎	理系基礎	数学Ⅰ	2	
		数学Ⅱ	2	
		物理学Ⅰ	2	
		物理学Ⅱ	2	
		化学Ⅰ	2	
		化学Ⅱ	2	
		生物学Ⅰ	2	
		生物学Ⅱ	2	
		地球科学Ⅰ	2	
		地球科学Ⅱ	2	
		物理学実験A	2	
		物理学実験B	1	
		化学実験A	2	
		化学実験B	1	
		生物学実験	2	
		地球科学実験	2	

系列	分野	授業科目	単位数
専門基礎	学部専門基礎	ドイツ語入門1	2
		ドイツ語入門2	2
		フランス語入門1	2
		フランス語入門2	2
		中国語入門1	2
		中国語入門2	2
		中国語初級1A	2
		中国語初級1B	2
		中国語初級2A	2
		中国語初級2B	2
		ハングル入門1	2
		ハングル入門2	2
		ハングル初級1A	2
		ハングル初級1B	2
		ハングル初級2A	2
		ハングル初級2B	2
		医学のための統計学	2
		数学概論	2
		医学のための物理学入門	2
		医学英語1a	1
医学英語1b	1		
医学英語2	2		
医療英語	2		
基礎医療英会話	2		
医療心理学	2		
医療環境論1	1又は2		
医療環境論2	1又は2		

(2) 共通教育科目の授業科目及び単位数 (共同獣医学部)

系列	分野	授業科目	単位数
専門基礎	日本語	日本語Ⅰ(総合)	2~10
		生活日本語	2~6
		日本語Ⅱ(総合)	2~8
		日本語Ⅱ(読む・書く)	2~4
		日本語Ⅱ(聞く・話す)	2
		日本語ⅢA(総合)	2~4
		日本語ⅢB(総合)	2~4
		日本語Ⅲ(読む・書く)	2~4
		日本語ⅢA(聞く・話す)	2~4
		日本語ⅢB(聞く・話す)	2~4
		日本語ⅢA(文法)	2
		日本語ⅢB(文法)	2
		日本語ⅣA(総合)	2~4
		日本語ⅣB(総合)	2~4
		日本語ⅣA(読む・書く)	2~4
		日本語ⅣB(読む・書く)	2~4
		日本語ⅣA(聞く・話す)	2~4
		日本語ⅣB(聞く・話す)	2~4
		日本語ⅣA(文法)	2
		日本語ⅣB(文法)	2
		日本語ⅤA(総合)	2~4
		日本語ⅤB(総合)	2~4
		日本語ⅤA(アカデミックライティング)	2
		日本語ⅤB(アカデミックライティング)	2
		日本語ⅤA(口頭表現)	2
		日本語ⅤB(口頭表現)	2
		日本語ⅤA(ビジネス日本語)	2
		日本語ⅤB(ビジネス日本語)	2
		日本事情ⅠA	2
		日本事情ⅠB	2
		日本事情ⅡA	2
		日本事情ⅡB	2
プロジェクトワークで学ぶ日本語A	2		
プロジェクトワークで学ぶ日本語B	2		
教職基礎	教職基礎	日本国憲法	2
		スポーツ運動実習	1
教養展開	国際展開	国際展開科目 海外英語研修	1又は2 2
	地域展開	地域展開科目	1又は2
	知財展開	知財展開科目	1又は2
	デザイン展開	ユニバーサル ユニバーサルデザイン展開科目	1又は2

系列	分野・科目	授業科目	単位数	
一般教養教育科目	人文・社会科学系	文化と芸術	文化の継承と創造1 文化の継承と創造2	1 1
		思想と歴史	哲学 歴史学	1 1
		人と社会	社会学	1
			経済と法1	1
	経済と法2		1	
	経済と法3		1	
	人間の発達と育成1	1		
	人間の発達と育成2	1		
	自然科学系	自然と科学技術	自然科学1	1
			自然科学2	1
			科学技術と社会	1
			環境と人間	1
食と生命			1	
生命科学概論			2	
総合教養系	人間教養と将来設計	山口と世界	1	
		知の広場	1	
体育・健康科目	健康とスポーツ分野	スポーツ運動実習	1	
		社会と医療	1	
初期教育科目	導入教育系	生命倫理学 コミュニケーション論	1 1	
	情報科学系	情報セキュリティ・モラル 情報リテラシー演習	1 1	
外国語科目	英語	英語Ⅰ	4	
		英語Ⅱ	4	
基礎教育科目	数学・理科	基礎生物学	2	
		基礎化学	1	
		基礎物理学	1	
		分子生物学	1	
		畜産科学	1	
		生物統計学	1	
		作物・草地理学	1	
		生物学実験	2	



XI. 相談窓口について

●相談窓口の場所は、P.46, 47を参照してください。

相談内容		相談窓口	備考	
学業に関すること	授業内容に関すること	各授業担当教員	シラバスに記載されているオフィスアワー（※）を利用して、担当教員にコンタクトをとってください。教員の研究室については、別冊子『共通教育時間割表』の共通教育担当教員名簿に記載されています。 （※）オフィスアワーとは、授業等についての学生の質問等に応じるために、教員があらかじめ設定した時間において、学生の訪問を受け入れる制度です。	
	共通教育科目の履修方法に関すること	共通教育係 （授業・試験 修学指導窓口）		
	修学支援システムに関すること		学生証のかざし忘れによる相談は、講義担当教員に直接申し出ること。	
	出席確認システムに関すること	各学部教務（学務） 担当係（注1）		
	TOEIC IPテスト・TOEIC関係科目に関すること		共通教育係 （TOEIC窓口）	
	履修に関すること			
	上限単位数に関すること			P.31参照
	教育職員免許状に関すること			P.28参照
	既修得単位に関すること			P.35参照
	単位互換制度に関すること			
進級・卒業にかかわること				
その他専門科目に関すること				
学生生活に関すること（注4）	各種証明書	学生証	共通教育係	
		学割証	自動発行機	
		在学証明書（注3）		
		卒業見込証明書（注3）		
		学生証再発行申請書		申請書発行後に、共通教育係にて再発行手続きを行う。
		通学証明書	学生支援課	
		成績証明書	各学部教務（学務） 担当係（注1）	
	健康診断証明書	保健管理センター		
	身上に関する こと	休学/復学/退学	各学部教務（学務） 担当係（注1）	
		転学部		
		転居		
		改性		
	経済援助	奨学金	学生支援課	
		授業料免除		
		学生寮		
	学生生活全般に関する相談	なんでも相談		
	悩み全般に関する相談	学生相談所		
障害等のある学生の修学支援	学生特別支援室			
けが/体調不良/身体やこころの健康相談	保健管理センター	入学時配布の「大学新入生のための健康ガイド」参照。		
その他の	駐車許可証	学生支援課		
	自転車入構証			
	学生教育研究災害傷害保険			
	学生健康保険			
事故報告	各学部教務（学務） 担当係（注2）			

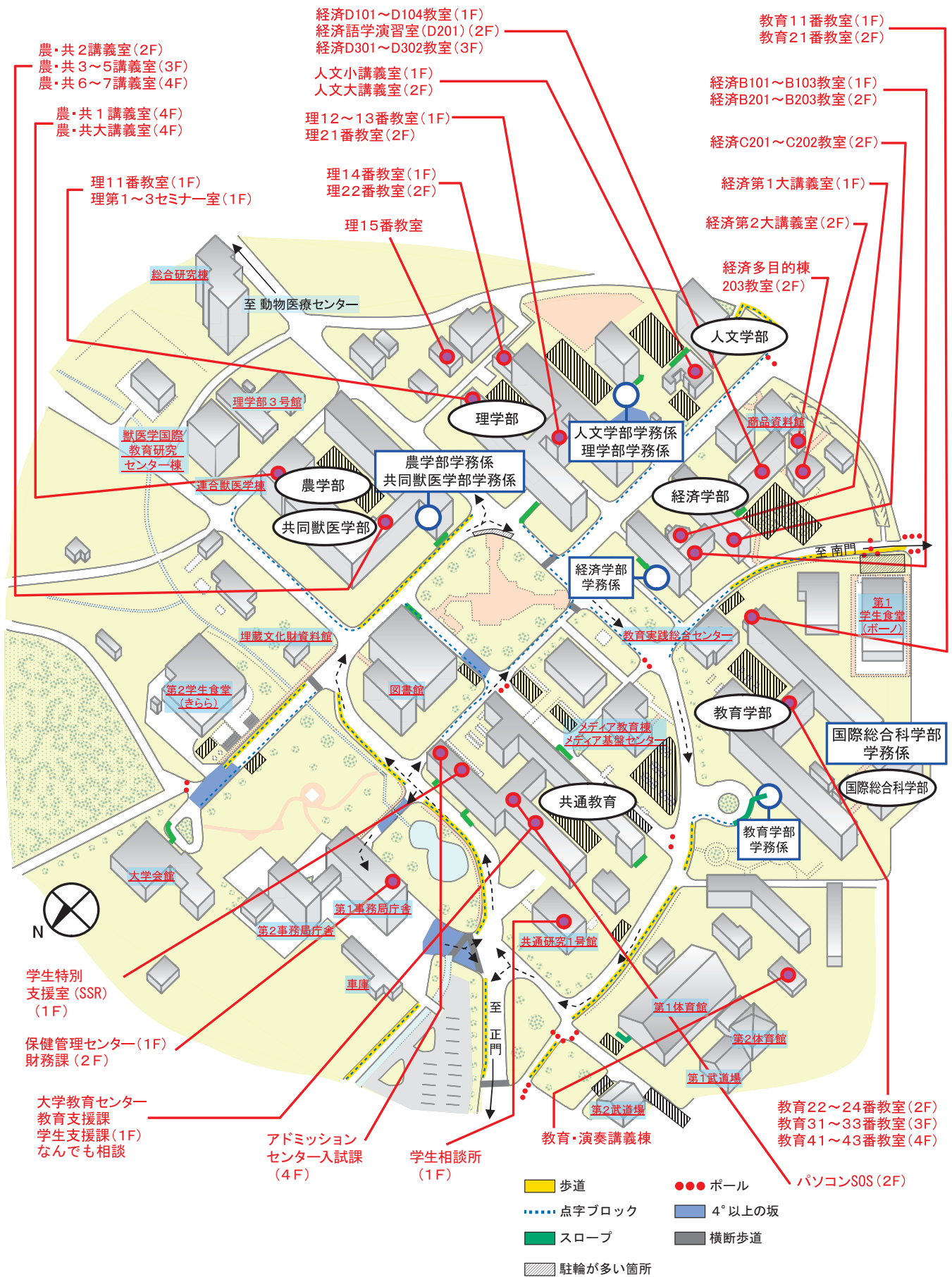
（注1）医学部・工学部1年生は、共通教育係に相談してください。

（注2）医学部・工学部1年生は、学生支援課に相談してください。

（注3）英文の各種証明書は、各学部教務（学務）担当係に相談してください。

（注4）学生生活については、別冊子の『学生生活の手引』を参照してください。

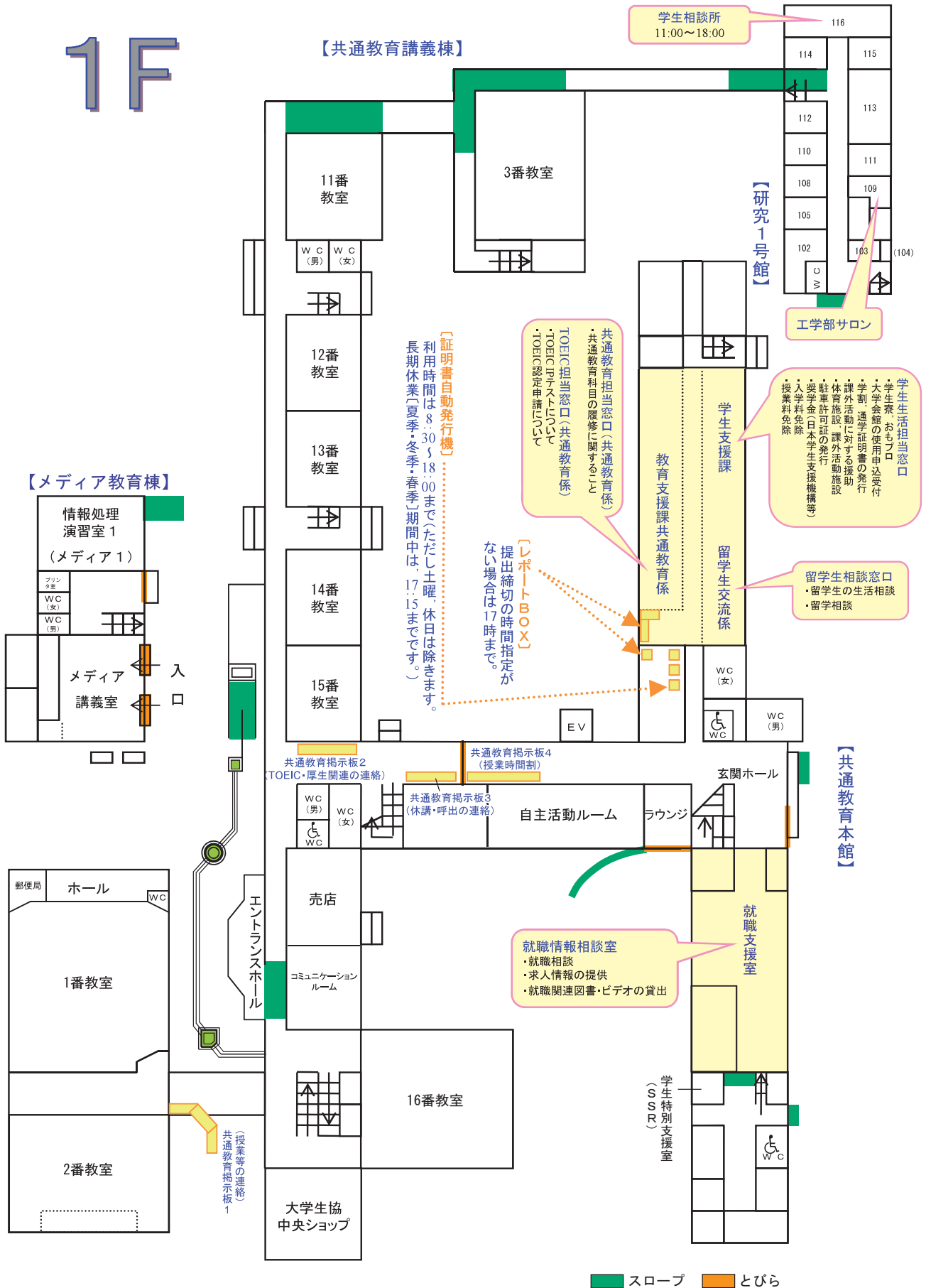
XII. 吉田キャンパス配置図



XIII. 共通教育棟配置図

【共通教育本館・講義棟等（教室・実験室・事務室・研究室）の配置図】

1F



2F

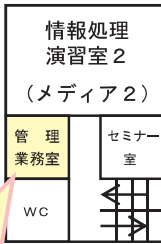
215	216	217
213		212
210		211
208		209
206		207
204		205
202		203
WC		

【研究1号館】

【共通教育講義棟】

【メディア教育棟】

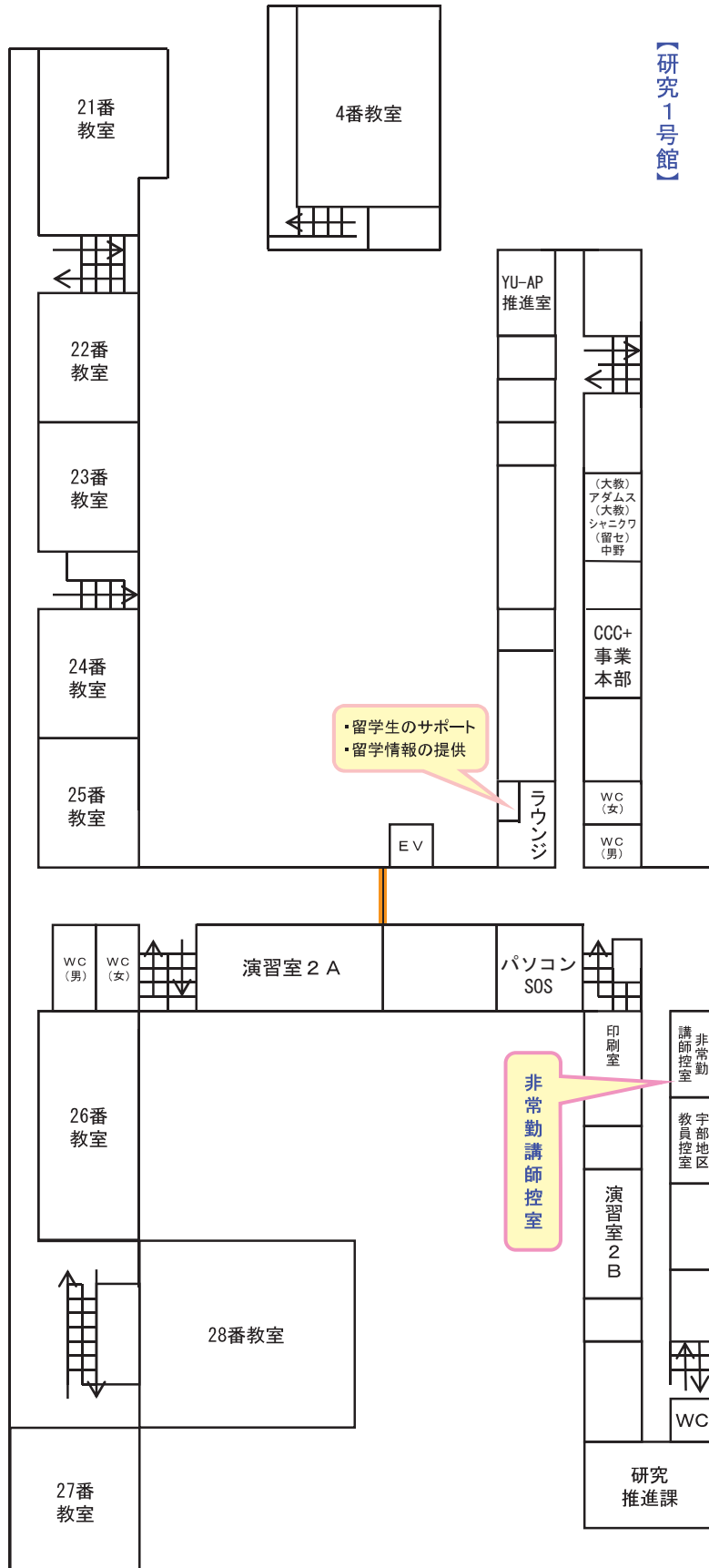
メディア基盤センター



学内パソコン、情報コンセント担当窓口
 ・学内パソコン、情報コンセントを使用する際の
 利用登録証(ログイン名、パスワード)について
 ・メディア教育棟のパソコン利用について

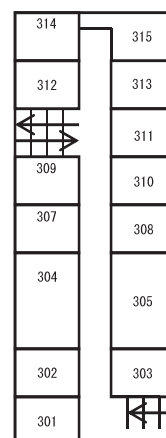
・留学生のサポート
 ・留学情報の提供

非常勤講師控室



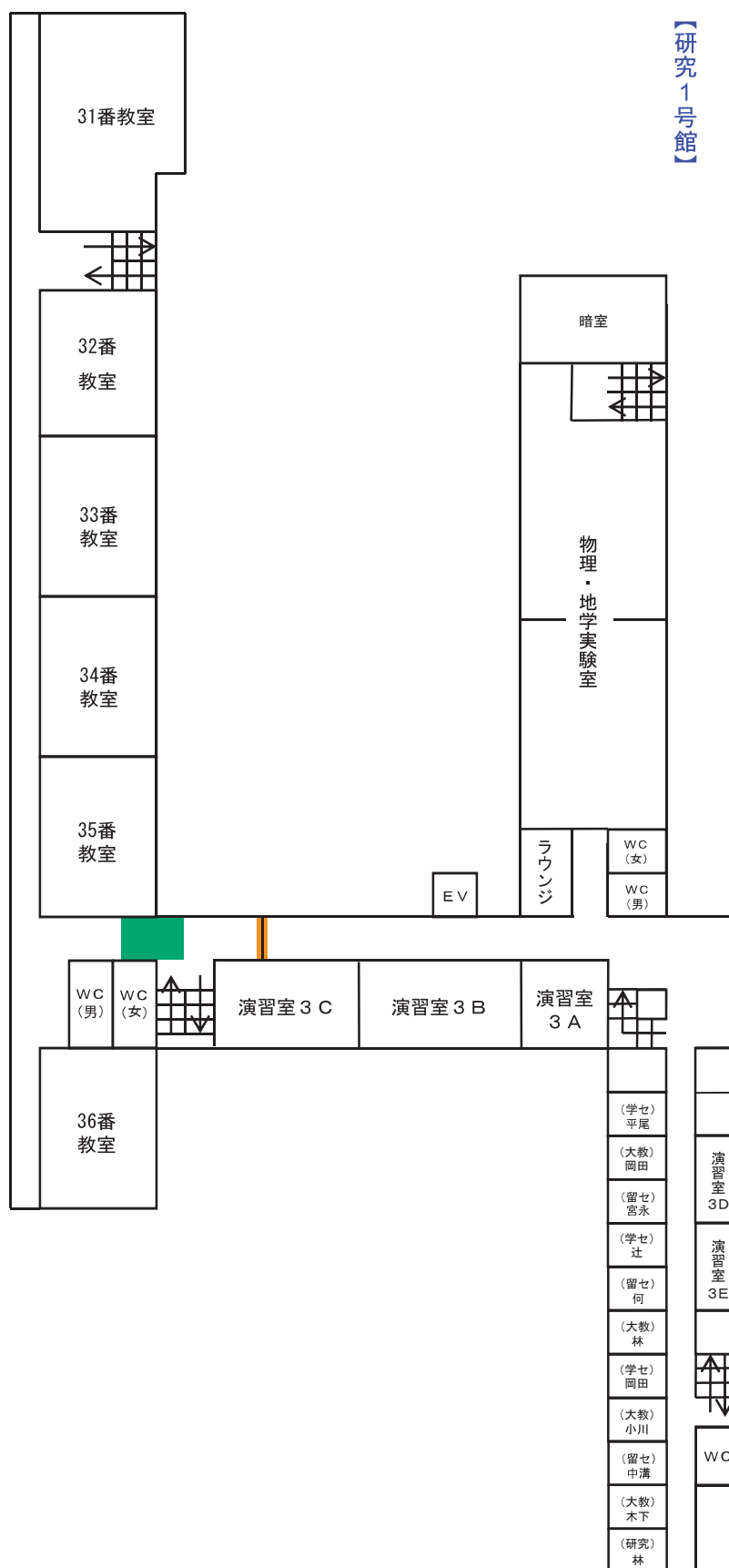
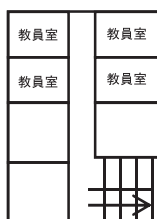
【共通教育本館】

3F



【研究1号館】

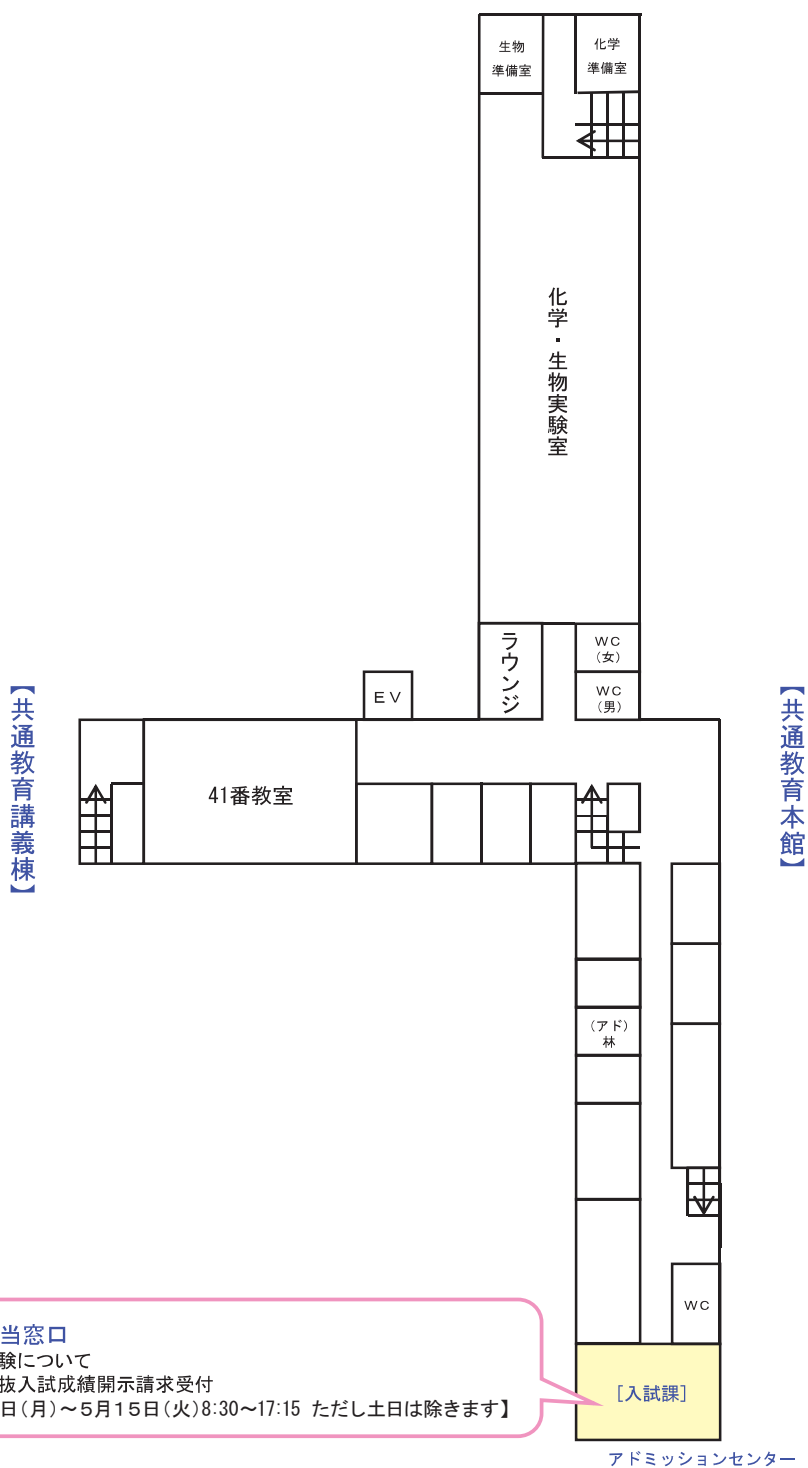
【メディア教育棟】



【共通教育講義棟】

【共通教育本館】

4F





共通教育科目に関するよくある質問について

共通教育科目についてよくある質問を○×クイズ形式にしてみました。『共通教育履修案内』をひと通り読んだら、クイズを解いてみてください。

問1.

問題：時間割表を作成する際には、月曜日1・2時限目から金曜日9・10時限目まで授業を入れなければならない。

解答：×

解説：高校までと異なり、卒業に必要な科目・単位数等が決められています。必修科目を入れて、選択科目を上限単位数を超えないように入れると、必ずしもすべての時間に授業がはいることはありません。

問2.

問題：運動健康科学のクォーター2の授業を履修する人は、クォーター1の授業開始日に行かなければならない。

解答：×

解説：クォーター2および4の授業を履修する人は、履修・抽選登録期間にWeb登録し、クォーター2および4の開始日（表紙裏の学年暦に記載）に教室へ行ってください。

問3.

問題：クォーター2の授業は、クォーター1と同じ履修・抽選登録期間にWeb登録しなくてはならない。

解答：○

解説：クォーター1の授業でもクォーター2の授業であっても、履修登録期間は同じです。P.9を参照し、期間内に必ず履修登録をするようにしてください。

問4.

問題：前期に英語Ⅱ a、英語会話Ⅱ aを履修し、前期終了後にVELCテストを受験しスコアが基準点未満であった場合は、後期から英語Ⅰ b、英語会話Ⅰ bを履修しなければならない。

解答：×

解説：上位クラスの者は、下位クラスへの移動はできません。逆に前期にスコアが基準点未満の者が前期終了後のVELCテストを受験し基準点以上であれば、後期から英語Ⅱ b、英語会話Ⅱ bを履修することとなります。

問5.

問題：共通教育科目の集中講義は、履修・抽選登録期間にWeb登録する必要はない。

解答：○

解説：履修方法については、前期は6月～7月頃に掲示でお知らせしますので、掲示をよく確認してください。

問6.

問題：2月に実施されるTOEIC L&R IPテストを受験しなかった場合、英語カリキュラムの単位は取得できない。

解答：△

解説：真にやむを得ない理由により受験できない場合は、事前に共通教育係に相談してください。

問7.

問題：山口大学主催のTOEIC L&R IPテストやTOEIC Bridge IPテストで基準点以上のスコアを取得した場合は、必ず窓口で申請しなければならない。

解答：×

解説：一部の例外を除いて、自動認定されます。(P.22参照)

問8.

問題：海外英語研修は説明会に出席し、海外に行き、成績によって単位が認定される。

解答：×

解説：説明会出席とは別に、出発前の事前指導および帰国後の発表会に参加しなければ、単位が認定されることはありません。事前指導等の詳細については、掲示でお知らせします。(P.30参照)

問9.

問題：学生が教員の研究室を訪ねてはいけない。

解答：×

解説：授業内容について質問があるときは、シラバスのオフィスアワーや別冊子『共通教育時間割表』巻末の教員名簿に記載された研究室を参考に、教員を訪ねてください。非常勤の先生は、授業の時しか山口大学に来られませんので、授業後に質問してください。

問10.

問題：授業を欠席する場合は、欠席届を必ず提出しなければならない。

解答：○

解説：共通教育科目の欠席届の様式が必要な場合は、共通教育係窓口まで申し出てください。P.36に記載のとおり必要事項を記載の上、担当教員に提出してください。

ただし、欠席届は担当教員に欠席を届け出るものであって、必ずしも出席扱いになるものではありません。

問11.

問題：授業の初回から必ず教科書が必要である。

解答：△

解説：初回から必要となる場合がありますので、必ずシラバスや掲示を確認して、できるだけ購入して参加してください。履修が確定する2回目の授業までには必ず購入してください。

問12.

問題：抽選科目で、当選又は強制割振以外の授業に出席した場合、当選外の授業の評価を受けることができない。

解答：○

解説：当選したクラスを勘違いするなどして、当選外の授業に参加しても、評価を受けることはできません。どのクラスに当選したか十分に確認し、授業開始時に当選した授業の講義題目と教員がっているか確認してください。



共通教育科目時間割表の作成手順について

1. 各学部発行の『履修の手引』（要覧）の**共通教育カリキュラム表**の専門基礎系列（理系基礎分野と学部専門基礎分野）の授業科目を、次ページの**共通教育履修科目チェック表**の専門基礎系列（理系基礎分野と学部専門基礎分野）の授業科目欄に書き写してください。専門基礎系列に履修できる科目がない学部の学生は、何も記入する必要はありません。
2. **共通教育履修チェック表**の「開講期」と「曜日・時限」を『共通教育時間割表』を見ながらすべての科目を記入してください。
 - *注意*
 - ①担当教員名欄は、クラス指定の科目のみ記入してください。
 - ②備考欄に2年次に履修と書かれている科目は1年次に履修できませんので、空欄のまま構いません。
3. 出来あがった**共通教育履修チェック表**を見ながら、次のページの**履修時間割表**を前後期とも作成してください。
4. 各学部の専門科目を空きコマに追加する。
 - *注意*
 - 所属する学部や学科によって履修登録できる授業科目（専門科目含む）の上限が異なっているため、P.30「10. その他の履修上の注意」を参照してください。

次のページから
時間割を
作成してみよう！



～平成 30 年度入学者用共通教育履修科目チェック表～

共通教育科目で履修する授業の開講期、曜日時限、担当教員を記入して履修登録間違いなどのないように確認してください。

系 列	分 野	授 業 科 目	単 位 数	必要単位数	時 間 割		担 当 教 員 名	単 位 修 得 (修得済:○)	備 考 講義題目等
					開講期 (クォーター)	曜 日 ・ 時 限			
教養コア	基礎セミナー	基礎セミナー	2	2		前・後			
	情報処理	データ科学と社会 I	1	1	1・2・3・4				
		データ科学と社会 II	1	1	1・2・3・4				
	運動健康科学	運動健康科学	1	1	1・2・3・4				
	山口と世界	山口と世界	1	1	3・4				理学部物理・情報科学科及び工学部は2年次
キャリア教育	知の広場	知の広場	1	1	1・2・3・4				
	キャリア教育	キャリア教育	1	1	1・2・3・4				教育学部及び医学部のみ1年次
英語	英語	英語 I a または 英語 II a	2	8		前・後			
		英語 I b または 英語 II b	2			前・後			
		英語会話 I a または 英語会話 II a	2			前・後			
		英語会話 I b または 英語会話 II b	2			前・後			
一般教養 (人文教養)	哲学	哲学	1	1	1・2・3・4				
	歴史学	歴史学	1	1	1・2・3・4				
	社会学	社会学	1	1	1・2・3・4				理学部物理・情報科学科のみ2年次
一般教養 (社会教養)	経済と法	経済と法1	1	1	1・2・3・4				経済学部を除く 理学部物理・情報科学科のみ2年次
		経済と法2	1	1	1・2・3・4				経済学部を除く
		経済と法3	1	1	1・2・3・4				
一般教養 (自然教養)	自然科学	自然科学1	1	1	1・2・3・4				理学部数理科学科、物理・情報科学科、生物・化 学科を除く
		自然科学2	1	1	1・2・3・4				理学部数理科学科、物理・情報科学科、生物・化 学科、農学部を除く
一般教養 (学際的教養)	人間の発達と育成	人間の発達と育成1	1	1	1・2・3・4				理学部物理・情報科学科のみ2年次
		人間の発達と育成2	1	1	1・2・3・4				教育学部を除く 理学部物理・情報科学科のみ2年次
	文化の継承と創造	文化の継承と創造1	1	1	1・2・3・4				理学部物理・情報科学科のみ2年次
		文化の継承と創造2	1	1	1・2・3・4				教育学部を除く 理学部物理・情報科学科のみ2年次
	社会と医療	社会と医療	1	1	1・2・3・4				
	科学技術と社会	科学技術と社会	1	1	1・2・3・4				理学部物理・情報科学科のみ2年次
環境と人間	環境と人間	1	1	1・2・3・4				理学部物理・情報科学科及び工学部は2年次	
	食と生命	食と生命	1	1	1・2・3・4				農学部を除く
専門基礎	理系基礎								
	学部専門基礎								
教職基礎	教職基礎	日本国憲法	2			前・後			教員免許取得希望者及び教育学部生全員
		スポーツ運動実習	1			前・後			教員免許取得希望者及び教育学部生全員
教養展開	国際展開								
	地域展開								
	知財展開								
	ユニバーサル デザイン展開								

履修一覧表

《前期》

	月	火	水	木	金
1・2時限 (8:40～10:10)					
3・4時限 (10:20～11:50)					
5・6時限 (12:50～14:20)					
7・8時限 (14:30～16:00)					
9・10時限 (16:10～17:40)					
11・12時限 (17:50～19:20)					
その他					

《後期》

	月	火	水	木	金
1・2時限 (8:40～10:10)					
3・4時限 (10:20～11:50)					
5・6時限 (12:50～14:20)					
7・8時限 (14:30～16:00)					
9・10時限 (16:10～17:40)					
11・12時限 (17:50～19:20)					
その他					

教育支援課 ホームページ の紹介

●教育支援課ホームページのアクセス方法

「山口大学ホームページ」の「学生生活・就職情報」をクリック



「学生生活等支援組織」の「教育支援課」をクリック



●教育支援課ホームページには、共通教育に関する情報を掲載しています。是非利用してください。

～メニューの紹介～

* 学年暦

1年間の予定表を見ることができます。

* 授業時間割

共通教育科目の最新の時間割を見ることができます。

* 定期試験

共通教育科目の期末試験日程を、期末試験週間の1週間前から見ることができます。

* 共通教育係掲示板

授業の抽選結果や休業期間中の掲示をこちらから見ることができます。

* 「人・知・技」

教員を検索し、研究内容や教育内容等を確認できます。





YAMAGUCHI UNIVERSITY

山口大学

学 部

学科・課程

学籍番号

氏 名

平成 30 年度
共 通 教 育 履 修 案 内
[1 年次の学生用]

編集発行：山口大学大学教育センター
〒753-8511 山口市吉田 1677-1
TEL 083-933-5050

